





十年
國學
藏書

修身學論

文選百種

Blank page with faint bleed-through text from the reverse side of the document.

關於新民主主義的政權

新民主主義的政權，是工人階級領導的，以工農聯盟為基礎的，各革命階級聯合專政的政權。這種政權，在國內各革命階級中，是以工人階級為領導，以農民為基礎，而以小資產階級和民族資產階級為同盟軍的。這種政權，在國際範圍內，是以工人階級為領導，以農民為基礎，而以小資產階級和民族資產階級為同盟軍的。這種政權，是過渡性的政權，是向社會主義過渡的政權。

（未完）

新民主主義的政權，是工人階級領導的，以工農聯盟為基礎的，各革命階級聯合專政的政權。這種政權，在國內各革命階級中，是以工人階級為領導，以農民為基礎，而以小資產階級和民族資產階級為同盟軍的。這種政權，在國際範圍內，是以工人階級為領導，以農民為基礎，而以小資產階級和民族資產階級為同盟軍的。這種政權，是過渡性的政權，是向社會主義過渡的政權。

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

卷之八

一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、

十一、

十二、

十三、

十四、

十五、

十六、

十七、

十八、

十九、

二十、

卷之九

一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、

十一、

十二、

十三、

十四、

十五、

十六、

十七、

十八、

十九、

二十、

The text in this block is extremely faint and appears to be bleed-through from the reverse side of the page. It contains approximately 25 lines of vertical Chinese text.

On the right page, there is a large rectangular box containing text. Above this box, there are smaller characters, likely a title or chapter heading. The text inside the box is organized in approximately 25 vertical columns, reading from right to left. The text is very faint and difficult to discern.

... 一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十... 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十... 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十... 五十一... 五十二... 五十三... 五十四... 五十五... 五十六... 五十七... 五十八... 五十九... 六十... 六十一... 六十二... 六十三... 六十四... 六十五... 六十六... 六十七... 六十八... 六十九... 七十... 七十一... 七十二... 七十三... 七十四... 七十五... 七十六... 七十七... 七十八... 七十九... 八十... 八十一... 八十二... 八十三... 八十四... 八十五... 八十六... 八十七... 八十八... 八十九... 九十... 九十一... 九十二... 九十三... 九十四... 九十五... 九十六... 九十七... 九十八... 九十九... 一百

... 一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十... 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十... 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十... 五十一... 五十二... 五十三... 五十四... 五十五... 五十六... 五十七... 五十八... 五十九... 六十... 六十一... 六十二... 六十三... 六十四... 六十五... 六十六... 六十七... 六十八... 六十九... 七十... 七十一... 七十二... 七十三... 七十四... 七十五... 七十六... 七十七... 七十八... 七十九... 八十... 八十一... 八十二... 八十三... 八十四... 八十五... 八十六... 八十七... 八十八... 八十九... 九十... 九十一... 九十二... 九十三... 九十四... 九十五... 九十六... 九十七... 九十八... 九十九... 一百

一
二
三
四
五

卷之四
四
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

卷之五
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

一、（一） 凡屬此類者，其性質均屬
 二、（二） 凡屬此類者，其性質均屬
 三、（三） 凡屬此類者，其性質均屬
 四、（四） 凡屬此類者，其性質均屬
 五、（五） 凡屬此類者，其性質均屬
 六、（六） 凡屬此類者，其性質均屬
 七、（七） 凡屬此類者，其性質均屬
 八、（八） 凡屬此類者，其性質均屬
 九、（九） 凡屬此類者，其性質均屬
 十、（十） 凡屬此類者，其性質均屬

一、（一） 凡屬此類者，其性質均屬
 二、（二） 凡屬此類者，其性質均屬
 三、（三） 凡屬此類者，其性質均屬
 四、（四） 凡屬此類者，其性質均屬
 五、（五） 凡屬此類者，其性質均屬
 六、（六） 凡屬此類者，其性質均屬
 七、（七） 凡屬此類者，其性質均屬
 八、（八） 凡屬此類者，其性質均屬
 九、（九） 凡屬此類者，其性質均屬
 十、（十） 凡屬此類者，其性質均屬

一、凡我同胞，應注意者，在於此。此乃我國前途之關鍵也。吾人今日所處之地位，誠非易言。外侮日深，內憂日熾。若不早為之計，則國家將危如累卵。吾人當思所以自強之道，在於教育。教育者，立國之本也。吾人當使子弟皆受教育，使人人皆有才力，則國家自強。此乃吾人今日之使命也。

二、其次，在於經濟。經濟者，立國之基也。吾人當使人人皆有生計，則國家自富。此乃吾人今日之使命也。

三、其次，在於政治。政治者，立國之綱也。吾人當使人人皆有權利，則國家自明。此乃吾人今日之使命也。

四、其次，在於法律。法律者，立國之規也。吾人當使人人皆有法律，則國家自正。此乃吾人今日之使命也。

五、其次，在於道德。道德者，立國之德也。吾人當使人人皆有道德，則國家自盛。此乃吾人今日之使命也。

六、其次，在於藝術。藝術者，立國之華也。吾人當使人人皆有藝術，則國家自美。此乃吾人今日之使命也。

七、其次，在於體育。體育者，立國之強也。吾人當使人人皆有體育，則國家自健。此乃吾人今日之使命也。

八、其次，在於音樂。音樂者，立國之和也。吾人當使人人皆有音樂，則國家自樂。此乃吾人今日之使命也。

九、其次，在於舞蹈。舞蹈者，立國之舞也。吾人當使人人皆有舞蹈，則國家自舞。此乃吾人今日之使命也。

十、其次，在於戲劇。戲劇者，立國之戲也。吾人當使人人皆有戲劇，則國家自戲。此乃吾人今日之使命也。

一、其次，在於科學。科學者，立國之智也。吾人當使人人皆有科學，則國家自明。此乃吾人今日之使命也。

二、其次，在於歷史。歷史者，立國之鑑也。吾人當使人人皆有歷史，則國家自正。此乃吾人今日之使命也。

三、其次，在於地理。地理者，立國之圖也。吾人當使人人皆有地理，則國家自正。此乃吾人今日之使命也。

四、其次，在於語言。語言者，立國之通也。吾人當使人人皆有語言，則國家自通。此乃吾人今日之使命也。

五、其次，在於文字。文字者，立國之記也。吾人當使人人皆有文字，則國家自記。此乃吾人今日之使命也。

六、其次，在於算術。算術者，立國之數也。吾人當使人人皆有算術，則國家自數。此乃吾人今日之使命也。

七、其次，在於音樂。音樂者，立國之和也。吾人當使人人皆有音樂，則國家自樂。此乃吾人今日之使命也。

八、其次，在於舞蹈。舞蹈者，立國之舞也。吾人當使人人皆有舞蹈，則國家自舞。此乃吾人今日之使命也。

九、其次，在於戲劇。戲劇者，立國之戲也。吾人當使人人皆有戲劇，則國家自戲。此乃吾人今日之使命也。

十、其次，在於體育。體育者，立國之強也。吾人當使人人皆有體育，則國家自健。此乃吾人今日之使命也。

十一、其次，在於音樂。音樂者，立國之和也。吾人當使人人皆有音樂，則國家自樂。此乃吾人今日之使命也。

十二、其次，在於舞蹈。舞蹈者，立國之舞也。吾人當使人人皆有舞蹈，則國家自舞。此乃吾人今日之使命也。

十三、其次，在於戲劇。戲劇者，立國之戲也。吾人當使人人皆有戲劇，則國家自戲。此乃吾人今日之使命也。

十四、其次，在於體育。體育者，立國之強也。吾人當使人人皆有體育，則國家自健。此乃吾人今日之使命也。

十五、其次，在於音樂。音樂者，立國之和也。吾人當使人人皆有音樂，則國家自樂。此乃吾人今日之使命也。

十六、其次，在於舞蹈。舞蹈者，立國之舞也。吾人當使人人皆有舞蹈，則國家自舞。此乃吾人今日之使命也。

十七、其次，在於戲劇。戲劇者，立國之戲也。吾人當使人人皆有戲劇，則國家自戲。此乃吾人今日之使命也。

十八、其次，在於體育。體育者，立國之強也。吾人當使人人皆有體育，則國家自健。此乃吾人今日之使命也。

十九、其次，在於音樂。音樂者，立國之和也。吾人當使人人皆有音樂，則國家自樂。此乃吾人今日之使命也。

二十、其次，在於舞蹈。舞蹈者，立國之舞也。吾人當使人人皆有舞蹈，則國家自舞。此乃吾人今日之使命也。

二十一、其次，在於戲劇。戲劇者，立國之戲也。吾人當使人人皆有戲劇，則國家自戲。此乃吾人今日之使命也。

二十二、其次，在於體育。體育者，立國之強也。吾人當使人人皆有體育，則國家自健。此乃吾人今日之使命也。

二十三、其次，在於音樂。音樂者，立國之和也。吾人當使人人皆有音樂，則國家自樂。此乃吾人今日之使命也。

二十四、其次，在於舞蹈。舞蹈者，立國之舞也。吾人當使人人皆有舞蹈，則國家自舞。此乃吾人今日之使命也。

二十五、其次，在於戲劇。戲劇者，立國之戲也。吾人當使人人皆有戲劇，則國家自戲。此乃吾人今日之使命也。

二十六、其次，在於體育。體育者，立國之強也。吾人當使人人皆有體育，則國家自健。此乃吾人今日之使命也。

二十七、其次，在於音樂。音樂者，立國之和也。吾人當使人人皆有音樂，則國家自樂。此乃吾人今日之使命也。

二十八、其次，在於舞蹈。舞蹈者，立國之舞也。吾人當使人人皆有舞蹈，則國家自舞。此乃吾人今日之使命也。

二十九、其次，在於戲劇。戲劇者，立國之戲也。吾人當使人人皆有戲劇，則國家自戲。此乃吾人今日之使命也。

三十、其次，在於體育。體育者，立國之強也。吾人當使人人皆有體育，則國家自健。此乃吾人今日之使命也。

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

18
20
22
24
26
28
30
32
34
36
38
40
42
44
46
48
50
52
54
56
58
60
62
64
66
68
70
72
74
76
78
80
82
84
86
88
90
92
94
96
98
100
102
104
106
108
110
112
114
116
118
120
122
124
126
128
130
132
134
136
138
140
142
144
146
148
150
152
154
156
158
160
162
164
166
168
170
172
174
176
178
180
182
184
186
188
190
192
194
196
198
200
202
204
206
208
210
212
214
216
218
220
222
224
226
228
230
232
234
236
238
240
242
244
246
248
250
252
254
256
258
260
262
264
266
268
270
272
274
276
278
280
282
284
286
288
290
292
294
296
298
300
302
304
306
308
310
312
314
316
318
320
322
324
326
328
330
332
334
336
338
340
342
344
346
348
350
352
354
356
358
360
362
364
366
368
370
372
374
376
378
380
382
384
386
388
390
392
394
396
398
400
402
404
406
408
410
412
414
416
418
420
422
424
426
428
430
432
434
436
438
440
442
444
446
448
450
452
454
456
458
460
462
464
466
468
470
472
474
476
478
480
482
484
486
488
490
492
494
496
498
500
502
504
506
508
510
512
514
516
518
520
522
524
526
528
530
532
534
536
538
540
542
544
546
548
550
552
554
556
558
560
562
564
566
568
570
572
574
576
578
580
582
584
586
588
590
592
594
596
598
600
602
604
606
608
610
612
614
616
618
620
622
624
626
628
630
632
634
636
638
640
642
644
646
648
650
652
654
656
658
660
662
664
666
668
670
672
674
676
678
680
682
684
686
688
690
692
694
696
698
700
702
704
706
708
710
712
714
716
718
720
722
724
726
728
730
732
734
736
738
740
742
744
746
748
750
752
754
756
758
760
762
764
766
768
770
772
774
776
778
780
782
784
786
788
790
792
794
796
798
800
802
804
806
808
810
812
814
816
818
820
822
824
826
828
830
832
834
836
838
840
842
844
846
848
850
852
854
856
858
860
862
864
866
868
870
872
874
876
878
880
882
884
886
888
890
892
894
896
898
900
902
904
906
908
910
912
914
916
918
920
922
924
926
928
930
932
934
936
938
940
942
944
946
948
950
952
954
956
958
960
962
964
966
968
970
972
974
976
978
980
982
984
986
988
990
992
994
996
998
1000

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
630
631
632
633
634
635
636
637
638
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
670
671
672
673
674
675
676
677
678
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
690
691
692
693
694
695
696
697
698
699
700
701
702
703
704
705
706
707
708
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
750
751
752
753
754
755
756
757
758
759
760
761
762
763
764
765
766
767
768
769
770
771
772
773
774
775
776
777
778
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
800
801
802
803
804
805
806
807
808
809
810
811
812
813
814
815
816
817
818
819
820
821
822
823
824
825
826
827
828
829
830
831
832
833
834
835
836
837
838
839
840
841
842
843
844
845
846
847
848
849
850
851
852
853
854
855
856
857
858
859
860
861
862
863
864
865
866
867
868
869
870
871
872
873
874
875
876
877
878
879
880
881
882
883
884
885
886
887
888
889
890
891
892
893
894
895
896
897
898
899
900
901
902
903
904
905
906
907
908
909
910
911
912
913
914
915
916
917
918
919
920
921
922
923
924
925
926
927
928
929
930
931
932
933
934
935
936
937
938
939
940
941
942
943
944
945
946
947
948
949
950
951
952
953
954
955
956
957
958
959
960
961
962
963
964
965
966
967
968
969
970
971
972
973
974
975
976
977
978
979
980
981
982
983
984
985
986
987
988
989
990
991
992
993
994
995
996
997
998
999
1000

一、此條係指......
二、此條係指......
三、此條係指......
四、此條係指......
五、此條係指......

一、此條係指......
二、此條係指......
三、此條係指......
四、此條係指......
五、此條係指......

一、（一） 凡屬本國之公民，均應遵守法律，不得有違法律之行為。
（二） 凡屬本國之公民，均應遵守法律，不得有違法律之行為。
（三） 凡屬本國之公民，均應遵守法律，不得有違法律之行為。
（四） 凡屬本國之公民，均應遵守法律，不得有違法律之行為。
（五） 凡屬本國之公民，均應遵守法律，不得有違法律之行為。
（六） 凡屬本國之公民，均應遵守法律，不得有違法律之行為。
（七） 凡屬本國之公民，均應遵守法律，不得有違法律之行為。
（八） 凡屬本國之公民，均應遵守法律，不得有違法律之行為。
（九） 凡屬本國之公民，均應遵守法律，不得有違法律之行為。
（十） 凡屬本國之公民，均應遵守法律，不得有違法律之行為。

中華民國
 二十二年

一、（一） 凡屬本國之公民，均應遵守法律，不得有違法律之行為。
（二） 凡屬本國之公民，均應遵守法律，不得有違法律之行為。
（三） 凡屬本國之公民，均應遵守法律，不得有違法律之行為。
（四） 凡屬本國之公民，均應遵守法律，不得有違法律之行為。
（五） 凡屬本國之公民，均應遵守法律，不得有違法律之行為。
（六） 凡屬本國之公民，均應遵守法律，不得有違法律之行為。
（七） 凡屬本國之公民，均應遵守法律，不得有違法律之行為。
（八） 凡屬本國之公民，均應遵守法律，不得有違法律之行為。
（九） 凡屬本國之公民，均應遵守法律，不得有違法律之行為。
（十） 凡屬本國之公民，均應遵守法律，不得有違法律之行為。

中華民國
 二十二年

一、（一） 凡屬此類者，其性質與前類無異，惟其範圍較廣，且其內容較為複雜，故其處理方法亦與前類不同。

（二） 此類之特點在於其內容之廣泛性，且其處理方法亦較為複雜，故其處理方法亦與前類不同。

（三） 此類之特點在於其內容之廣泛性，且其處理方法亦較為複雜，故其處理方法亦與前類不同。

（四） 此類之特點在於其內容之廣泛性，且其處理方法亦較為複雜，故其處理方法亦與前類不同。

（五） 此類之特點在於其內容之廣泛性，且其處理方法亦較為複雜，故其處理方法亦與前類不同。

一、（一） 凡屬此類者，其性質與前類無異，惟其範圍較廣，且其內容較為複雜，故其處理方法亦與前類不同。

一、（一） 凡屬此類者，其性質與前類無異，惟其範圍較廣，且其內容較為複雜，故其處理方法亦與前類不同。

（二） 此類之特點在於其內容之廣泛性，且其處理方法亦較為複雜，故其處理方法亦與前類不同。

（三） 此類之特點在於其內容之廣泛性，且其處理方法亦較為複雜，故其處理方法亦與前類不同。

（四） 此類之特點在於其內容之廣泛性，且其處理方法亦較為複雜，故其處理方法亦與前類不同。

（五） 此類之特點在於其內容之廣泛性，且其處理方法亦較為複雜，故其處理方法亦與前類不同。

一、（一） 凡屬此類者，其性質與前類無異，惟其範圍較廣，且其內容較為複雜，故其處理方法亦與前類不同。

一、（一） 凡屬此類者，其性質均屬
 二、（二） 此類之性質，與前類
 三、（三） 此類之性質，與前類
 四、（四） 此類之性質，與前類
 五、（五） 此類之性質，與前類
 六、（六） 此類之性質，與前類
 七、（七） 此類之性質，與前類
 八、（八） 此類之性質，與前類
 九、（九） 此類之性質，與前類
 十、（十） 此類之性質，與前類

一、（一） 凡屬此類者，其性質均屬
 二、（二） 此類之性質，與前類
 三、（三） 此類之性質，與前類
 四、（四） 此類之性質，與前類
 五、（五） 此類之性質，與前類
 六、（六） 此類之性質，與前類
 七、（七） 此類之性質，與前類
 八、（八） 此類之性質，與前類
 九、（九） 此類之性質，與前類
 十、（十） 此類之性質，與前類

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百

一、關於經濟建設之方針。本會認為經濟建設之方針，應以發展生產力為第一要義。其次為改善分配，再次為加強交通，最後為整頓金融。此四者為經濟建設之基本方針，不可忽視。

二、關於交通建設之方針。交通建設為經濟建設之基礎，應以修築鐵路為首要，其次為修築公路，再次為修築水運，最後為修築航空。此四者為交通建設之基本方針，不可忽視。

三、關於金融建設之方針。金融建設為經濟建設之命脈，應以整頓中央銀行為首要，其次為整頓地方銀行，再次為整頓信用合作社，最後為整頓錢莊。此四者為金融建設之基本方針，不可忽視。

四、關於分配建設之方針。分配建設為經濟建設之保障，應以改善工人待遇為首要，其次為改善農民待遇，再次為改善商人待遇，最後為改善貧民待遇。此四者為分配建設之基本方針，不可忽視。

五、關於生產建設之方針。生產建設為經濟建設之本源，應以發展農業為首要，其次為發展工業，再次為發展商業，最後為發展交通。此四者為生產建設之基本方針，不可忽視。

六、關於教育建設之方針。教育建設為經濟建設之動力，應以普及初等教育為首要，其次為普及中等教育，再次為普及職業教育，最後為普及高等教育。此四者為教育建設之基本方針，不可忽視。

七、關於文化建設之方針。文化建設為經濟建設之靈魂，應以發展科學為首要，其次為發展藝術，再次為發展體育，最後為發展衛生。此四者為文化建設之基本方針，不可忽視。

八、關於政治建設之方針。政治建設為經濟建設之保障，應以實行民主為首要，其次為實行法治，再次為實行改革，最後為實行革命。此四者為政治建設之基本方針，不可忽視。

九、關於社會建設之方針。社會建設為經濟建設之基礎，應以改善民生為首要，其次為改善治安，再次為改善衛生，最後為改善教育。此四者為社會建設之基本方針，不可忽視。

十、關於環境建設之方針。環境建設為經濟建設之保障，應以保護森林為首要，其次為保護水源，再次為保護土地，最後為保護空氣。此四者為環境建設之基本方針，不可忽視。

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、關於教育之重要性。教育為立國之本，國民教育為國家之基。教育能啟蒙民智，培養人才，使國民具備現代生活之能力。故政府應重視教育，增加教育經費，改善教學設備，提高教師待遇，以確保教育品質。

二、關於社會福利之實施。社會福利為保障國民基本生活，促進社會和諧之重要手段。政府應建立完善之社會福利制度，包括社會保險、社會救助、社會服務等，以照顧弱勢群體，縮小貧富差距。

三、關於經濟發展之策略。經濟發展為國家富強之基礎。政府應制定科學之經濟發展策略，鼓勵民間投資，支持中小企業發展，加強與國際市場之聯繫，提高國家競爭力。

四、關於環境保護之措施。環境保護為可持續發展之前提。政府應加強環境保護立法與執法，推廣綠色生產與消費，提高國民環保意識，共同營造美麗家園。

五、關於法治建設之推進。法治為社會公平正義之保障。政府應加強法治宣傳，提高司法效率，嚴厲打擊犯罪，維護社會秩序，讓人民在法治下生活。

六、關於文化建設之發展。文化為國家之靈魂。政府應支持文化事業發展，保護傳統文化遺產，推動文化創新，提高國民文化素質，增強國家文化軟實力。

七、關於對外關係之處理。和平發展為國家之基本國策。政府應堅持獨立自主、和平外交，加強與各國之友好合作，維護國家主權與領土完整，促進世界和平與發展。

八、關於民生改善之目標。民生為社會之根本。政府應以改善民生為出發點，增加就業機會，提高工資水平，完善醫療衛生、住房、養老等制度，讓人民共享發展成果。

九、關於社會治理之創新。社會治理關係社會穩定。政府應創新社會治理方式，加強基層組織建設，提高社會治理效能，維護社會長期穩定。

十、關於國家統一之堅持。國家統一為民族之命脈。政府應堅持一個中國原則，推動兩岸關係和平發展，維護國家領土完整與民族團結。

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、

卷之三

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、本國之政治。二、本國之經濟。三、本國之文化。四、本國之教育。五、本國之社會。六、本國之法律。七、本國之宗教。八、本國之藝術。九、本國之科學。十、本國之歷史。十一、本國之地理。十二、本國之人口。十三、本國之交通。十四、本國之國防。十五、本國之外交。十六、本國之國際地位。十七、本國之國際關係。十八、本國之國際合作。十九、本國之國際法。二十、本國之國際公約。二十一、本國之國際組織。二十二、本國之國際會議。二十三、本國之國際論壇。二十四、本國之國際期刊。二十五、本國之國際書籍。二十六、本國之國際報紙。二十七、本國之國際廣播。二十八、本國之國際電視。二十九、本國之國際網路。三十、本國之國際資訊。

一、本國之政治。二、本國之經濟。三、本國之文化。四、本國之教育。五、本國之社會。六、本國之法律。七、本國之宗教。八、本國之藝術。九、本國之科學。十、本國之歷史。十一、本國之地理。十二、本國之人口。十三、本國之交通。十四、本國之國防。十五、本國之外交。十六、本國之國際地位。十七、本國之國際關係。十八、本國之國際合作。十九、本國之國際法。二十、本國之國際公約。二十一、本國之國際組織。二十二、本國之國際會議。二十三、本國之國際論壇。二十四、本國之國際期刊。二十五、本國之國際書籍。二十六、本國之國際報紙。二十七、本國之國際廣播。二十八、本國之國際電視。二十九、本國之國際網路。三十、本國之國際資訊。

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、論曰。夫道之於世。猶水之於木也。木無水則枯。人無道則死。故君子必先慎乎德。德者本也。財者末也。外本而內末。則民散。故君子必先慎乎德。德者本也。財者末也。外本而內末。則民散。

德者本也
 財者末也
 外本而內末
 則民散

二、論曰。夫道之於世。猶水之於木也。木無水則枯。人無道則死。故君子必先慎乎德。德者本也。財者末也。外本而內末。則民散。故君子必先慎乎德。德者本也。財者末也。外本而內末。則民散。

德者本也
 財者末也
 外本而內末
 則民散

一、本會之宗旨
 二、本會之組織
 三、本會之經費
 四、本會之辦事處
 五、本會之附屬機關
 六、本會之服務對象
 七、本會之服務項目
 八、本會之服務時間
 九、本會之服務地點
 十、本會之服務方式

一、本會之宗旨
 二、本會之組織
 三、本會之經費
 四、本會之辦事處
 五、本會之附屬機關
 六、本會之服務對象
 七、本會之服務項目
 八、本會之服務時間
 九、本會之服務地點
 十、本會之服務方式

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

卷之二
論
一

夫道者，天下之歸也。如木之有根，水之有源。根固則木茂，源清則水活。道之於人，亦猶是也。人得道，則德業日進，名望日隆。若夫失道之人，猶如無源之水，無根之木，終必枯竭。故君子必先求道，後求名。道在則名隨，道亡則名散。此理之必然者也。昔者堯舜禹湯，皆以道立國，天下歸之。後世之亂，皆由道廢。故曰：道者，國家之命脈，百姓之命脈也。君子不可不察也。

卷之二
論
二

夫道之於人，猶如天之於地。天高而地卑，道尊而人卑。人當效法天道，居卑而守尊，居柔而守剛。此乃道之常理也。若夫小人，則反其道而行之，居尊而恃，居剛而暴。其結果必為天所不容，為人所不齒。故君子當守道，守道則安，失道則危。此理之必然者也。昔者孔子作春秋，褒善貶惡，以垂法於後世。其所以為萬世師也，蓋因其守道不阿也。君子當效法孔子，守道而後行。此理之必然者也。

卷之二

一、...

卷之三

一、...

卷之四

卷之三

一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

卷之三

一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

卷之四
四

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

卷之五
五

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

詩曰：『采芣苢，采芣苢，采芣苢，采芣苢，采芣苢，采芣苢。』
風俗詩。芣苢，草名，即苢菜也。此詩見於《詩經·國風·采芣苢》。此詩描寫婦人採芣苢的勞動生活，是《詩經》中唯一一首全用重疊字構成的詩。全詩僅六句，每句六字，字字重疊，讀來朗朗上口，充滿生活氣息。
《詩經》云：『采芣苢，采芣苢，采芣苢，采芣苢，采芣苢，采芣苢。』
此詩描寫婦人採芣苢的勞動生活，是《詩經》中唯一一首全用重疊字構成的詩。

詩曰：『采芣苢，采芣苢，采芣苢，采芣苢，采芣苢，采芣苢。』
風俗詩。芣苢，草名，即苢菜也。此詩見於《詩經·國風·采芣苢》。此詩描寫婦人採芣苢的勞動生活，是《詩經》中唯一一首全用重疊字構成的詩。全詩僅六句，每句六字，字字重疊，讀來朗朗上口，充滿生活氣息。
《詩經》云：『采芣苢，采芣苢，采芣苢，采芣苢，采芣苢，采芣苢。』
此詩描寫婦人採芣苢的勞動生活，是《詩經》中唯一一首全用重疊字構成的詩。

... 夫君子之居也，與民相親，而後可以為政。故君子必先慎乎德，有德此有人，有人此有土，有土此有財，有財此有用。德者本也，財者末也。外本而內末，自取滅亡，不可及也。...

... 夫君子之居也，與民相親，而後可以為政。故君子必先慎乎德，有德此有人，有人此有土，有土此有財，有財此有用。德者本也，財者末也。外本而內末，自取滅亡，不可及也。...

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、

一、（一） 凡屬國家之法律，其目的在保障國民之權利，而限制其自由。故法律之制定，必須以國民之利益為標準。若法律之制定，僅以少數人之利益為標準，則法律之制定，即屬不合法。此即所謂「法律之目的」也。

二、（二） 法律之制定，必須以國民之利益為標準。若法律之制定，僅以少數人之利益為標準，則法律之制定，即屬不合法。此即所謂「法律之目的」也。

三、（三） 法律之制定，必須以國民之利益為標準。若法律之制定，僅以少數人之利益為標準，則法律之制定，即屬不合法。此即所謂「法律之目的」也。

四、（四） 法律之制定，必須以國民之利益為標準。若法律之制定，僅以少數人之利益為標準，則法律之制定，即屬不合法。此即所謂「法律之目的」也。

五、（五） 法律之制定，必須以國民之利益為標準。若法律之制定，僅以少數人之利益為標準，則法律之制定，即屬不合法。此即所謂「法律之目的」也。

法律之目的
法律之目的
法律之目的

六、（六） 法律之制定，必須以國民之利益為標準。若法律之制定，僅以少數人之利益為標準，則法律之制定，即屬不合法。此即所謂「法律之目的」也。

七、（七） 法律之制定，必須以國民之利益為標準。若法律之制定，僅以少數人之利益為標準，則法律之制定，即屬不合法。此即所謂「法律之目的」也。

八、（八） 法律之制定，必須以國民之利益為標準。若法律之制定，僅以少數人之利益為標準，則法律之制定，即屬不合法。此即所謂「法律之目的」也。

九、（九） 法律之制定，必須以國民之利益為標準。若法律之制定，僅以少數人之利益為標準，則法律之制定，即屬不合法。此即所謂「法律之目的」也。

十、（十） 法律之制定，必須以國民之利益為標準。若法律之制定，僅以少數人之利益為標準，則法律之制定，即屬不合法。此即所謂「法律之目的」也。

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、

一、凡欲觀此書者，必先觀其序。序者，書之眉目也。眉目既明，則書中之旨，瞭然於胸中矣。此書之序，蓋作者自序也。其言雖簡，而其意則深。蓋作者之意，在於使人觀此書者，必先觀其序，然後觀其書。此序之旨，蓋在於使人觀此書者，必先觀其序，然後觀其書。此序之旨，蓋在於使人觀此書者，必先觀其序，然後觀其書。此序之旨，蓋在於使人觀此書者，必先觀其序，然後觀其書。

二、凡欲觀此書者，必先觀其目。目者，書之綱領也。綱領既明，則書中之旨，瞭然於胸中矣。此書之目，蓋作者自目也。其言雖簡，而其意則深。蓋作者之意，在於使人觀此書者，必先觀其目，然後觀其書。此目之旨，蓋在於使人觀此書者，必先觀其目，然後觀其書。此目之旨，蓋在於使人觀此書者，必先觀其目，然後觀其書。此目之旨，蓋在於使人觀此書者，必先觀其目，然後觀其書。

一、（一） 凡屬此類者，其性質均屬
 二、（二） 凡屬此類者，其性質均屬
 三、（三） 凡屬此類者，其性質均屬
 四、（四） 凡屬此類者，其性質均屬
 五、（五） 凡屬此類者，其性質均屬
 六、（六） 凡屬此類者，其性質均屬
 七、（七） 凡屬此類者，其性質均屬
 八、（八） 凡屬此類者，其性質均屬
 九、（九） 凡屬此類者，其性質均屬
 十、（十） 凡屬此類者，其性質均屬

（一）

（二）

（三）

一、（一） 凡屬此類者，其性質均屬
 二、（二） 凡屬此類者，其性質均屬
 三、（三） 凡屬此類者，其性質均屬
 四、（四） 凡屬此類者，其性質均屬
 五、（五） 凡屬此類者，其性質均屬
 六、（六） 凡屬此類者，其性質均屬
 七、（七） 凡屬此類者，其性質均屬
 八、（八） 凡屬此類者，其性質均屬
 九、（九） 凡屬此類者，其性質均屬
 十、（十） 凡屬此類者，其性質均屬

卷之六

卷之六

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、

此處文字模糊，難以辨識。

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、

... 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

... 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、

卷之四
四

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、（一） 凡屬國家之法律，其目的在保障國民之權利，並維持社會之秩序。故法律之制定，必須以國民之利益為依歸。且法律之執行，亦應以公平、正義為原則。此為法治之基本精神，亦為現代國家之基石。

二、（二） 法律之制定，應符合民主程序。國民應有參與法律制定之機會，以確保法律能反映國民之意志。且法律之修改，亦應經過嚴密之程序，以維護法律之權威與穩定。

三、（三） 法律之執行，應由獨立之司法機關負責。司法機關應不受行政、立法機關之干涉，以確保法律之公正執行。且司法機關應公開、透明地運作，以接受國民之監督。

四、（四） 法律之執行，應以教育為先。國民應了解法律之重要性，並養成守法之習慣。政府應加強法律宣傳，提高國民之法律意識。且應建立完善的法律援助制度，以保障貧困國民之合法權益。

中華民國
二十二年
一月一日

五、（五） 法律之執行，應與社會發展相適應。法律應隨社會之進步而不斷完善，以適應新情況、新問題之需要。政府應定期對法律進行評估與修訂，以確保法律之時效性。

六、（六） 法律之執行，應與國際法相協調。在國際交往日益頻繁之今天，我國法律應符合國際法之原則，以維護我國之國際聲譽與利益。且應加強與各國之法律交流與合作，共同維護國際法治。

七、（七） 法律之執行，應與道德教育相結合。法律是道德之底線，道德是法律之基礎。政府應加強道德教育，提高國民之道德素質。且應建立完善的信用體系，以促進社會之誠信與和諧。

八、（八） 法律之執行，應與社會福利相結合。政府應通過法律手段，加強對社會福利事業之支持與保障。應建立完善的社會保險制度，以保障國民在年老、疾病、失業等情況下之基本生活。且應加強對弱勢群體之法律救助，以促進社會之公平與正義。

一、
二、
三、
四、
五、

六、
七、

八、

九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、

十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、

一、（一） 凡屬本國之公民，其權利義務，均受法律之保護。其權利之範圍，由法律定之。其義務之範圍，亦由法律定之。凡屬本國之公民，其權利義務，均受法律之保護。其權利之範圍，由法律定之。其義務之範圍，亦由法律定之。

二、（二） 凡屬本國之公民，其權利義務，均受法律之保護。其權利之範圍，由法律定之。其義務之範圍，亦由法律定之。凡屬本國之公民，其權利義務，均受法律之保護。其權利之範圍，由法律定之。其義務之範圍，亦由法律定之。

一、（一） 凡屬國家之行政，其權限之分配，應以法律為根據。此即所謂法律保留原則。其目的在於保障人民之自由權利，不受行政機關之恣意干預。故凡涉及人民權利義務之事項，均應由立法機關以法律為之。

（二） 行政機關之組織，應以效率為原則。其人員之配置，應以專業分工為基礎，並應注意行政區域之劃分，以確保行政服務之品質。

（三） 行政程序之公開透明，為現代法治國家之基本要求。行政機關在作出行政行為時，應充分保障當事人之知情權與參與權，並應說明行政行為之理由。

（四） 行政救濟制度之健全，為保障人民權利之最後防線。人民對於行政機關之行為，如有不服，應得依法提起行政訴訟，以尋求司法之救濟。

一、（一） 凡屬國家之行政，其權限之分配，應以法律為根據。此即所謂法律保留原則。其目的在於保障人民之自由權利，不受行政機關之恣意干預。故凡涉及人民權利義務之事項，均應由立法機關以法律為之。

（二） 行政機關之組織，應以效率為原則。其人員之配置，應以專業分工為基礎，並應注意行政區域之劃分，以確保行政服務之品質。

（三） 行政程序之公開透明，為現代法治國家之基本要求。行政機關在作出行政行為時，應充分保障當事人之知情權與參與權，並應說明行政行為之理由。

（四） 行政救濟制度之健全，為保障人民權利之最後防線。人民對於行政機關之行為，如有不服，應得依法提起行政訴訟，以尋求司法之救濟。

一、（一） 凡屬國家之法律，其目的在保障國民之權利，而限制其自由。故法律之制定，必須以國民之利益為標準。若法律之制定，僅以統治者之利益為標準，則法律將淪為專制之工具。此為法律之第一原則。

（二） 法律之制定，必須具有明確性。法律之條文，應具體明確，使國民能預知其行為之法律效果。若法律之條文含糊不清，則國民將無法預測其行為之法律效果，此將損害法律之權威。

（三） 法律之制定，必須具有平等性。法律應平等地適用於所有國民，不得有特權階級。若法律之制定，僅為少數人謀利益，則法律將淪為特權階級之工具。

（四） 法律之制定，必須具有程序性。法律之制定，應經過法定之程序，以確保法律之公正性。若法律之制定，僅由少數人決定，則法律將淪為少數人之工具。

（五） 法律之制定，必須具有適應性。法律應隨社會之變遷而變遷，以適應社會之需要。若法律之制定，僅為一成不變，則法律將淪為僵死之條文。

（六） 法律之制定，必須具有公開性。法律之條文，應公開於眾，使國民能周知法律之內容。若法律之條文不公開，則國民將無法周知法律之內容，此將損害法律之權威。

（七） 法律之制定，必須具有穩定性。法律應具有穩定性，不得朝令夕改。若法律之制定，僅為朝令夕改，則國民將無法預測其行為之法律效果，此將損害法律之權威。

（八） 法律之制定，必須具有強制性。法律應具有強制性，使國民能遵守法律。若法律之制定，僅為無名無實，則法律將淪為虛文。

（九） 法律之制定，必須具有救濟性。法律應具有救濟性，使國民在權利受損時，能獲得法律之救濟。若法律之制定，僅為無名無實，則國民將無法獲得法律之救濟。

（十） 法律之制定，必須具有教育性。法律應具有教育性，使國民能明瞭法律之精神，並以此為行為之準則。若法律之制定，僅為無名無實，則國民將無法明瞭法律之精神。

一、關於本會之組織及職權
 本會定名為「中華民國教育學會」，其宗旨在研究教育學術，改進教育行政，並促進教育事業之發展。本會之組織如下：
 (一) 會員：凡具有中華民國國籍，且從事教育行政或教育學術工作者，均可申請加入本會。會員分為：
 1. 正式會員：凡具有大學以上學位，或具有十年以上教育行政或教育學術經驗者，均可申請。其會費為：
 (1) 會費：每月新台幣五百元。
 (2) 年費：新台幣六千元。
 (3) 入會費：新台幣一千元。
 2. 贊助會員：凡具有大學以上學位，或具有五年以上教育行政或教育學術經驗者，均可申請。其會費為：
 (1) 會費：每月新台幣三百元。
 (2) 年費：新台幣三千六百元。
 (3) 入會費：新台幣五百元。
 (4) 贊助會員之會費，得由本會之經費中撥充。
 (二) 職員：本會設會長一人，由會員大會選舉之。會長任期四年，連選得連任一次。會長之職權如下：
 1. 召集會員大會。
 2. 召集臨時會員大會。
 3. 召集理事會。
 4. 召集評議會。
 5. 聘任或解聘本會之職員。
 6. 聘任或解聘本會之職員。
 7. 聘任或解聘本會之職員。
 8. 聘任或解聘本會之職員。
 9. 聘任或解聘本會之職員。
 10. 聘任或解聘本會之職員。
 11. 聘任或解聘本會之職員。
 12. 聘任或解聘本會之職員。
 13. 聘任或解聘本會之職員。
 14. 聘任或解聘本會之職員。
 15. 聘任或解聘本會之職員。
 16. 聘任或解聘本會之職員。
 17. 聘任或解聘本會之職員。
 18. 聘任或解聘本會之職員。
 19. 聘任或解聘本會之職員。
 20. 聘任或解聘本會之職員。
 21. 聘任或解聘本會之職員。
 22. 聘任或解聘本會之職員。
 23. 聘任或解聘本會之職員。
 24. 聘任或解聘本會之職員。
 25. 聘任或解聘本會之職員。
 26. 聘任或解聘本會之職員。
 27. 聘任或解聘本會之職員。
 28. 聘任或解聘本會之職員。
 29. 聘任或解聘本會之職員。
 30. 聘任或解聘本會之職員。
 31. 聘任或解聘本會之職員。
 32. 聘任或解聘本會之職員。
 33. 聘任或解聘本會之職員。
 34. 聘任或解聘本會之職員。
 35. 聘任或解聘本會之職員。
 36. 聘任或解聘本會之職員。
 37. 聘任或解聘本會之職員。
 38. 聘任或解聘本會之職員。
 39. 聘任或解聘本會之職員。
 40. 聘任或解聘本會之職員。
 41. 聘任或解聘本會之職員。
 42. 聘任或解聘本會之職員。
 43. 聘任或解聘本會之職員。
 44. 聘任或解聘本會之職員。
 45. 聘任或解聘本會之職員。
 46. 聘任或解聘本會之職員。
 47. 聘任或解聘本會之職員。
 48. 聘任或解聘本會之職員。
 49. 聘任或解聘本會之職員。
 50. 聘任或解聘本會之職員。
 51. 聘任或解聘本會之職員。
 52. 聘任或解聘本會之職員。
 53. 聘任或解聘本會之職員。
 54. 聘任或解聘本會之職員。
 55. 聘任或解聘本會之職員。
 56. 聘任或解聘本會之職員。
 57. 聘任或解聘本會之職員。
 58. 聘任或解聘本會之職員。
 59. 聘任或解聘本會之職員。
 60. 聘任或解聘本會之職員。
 61. 聘任或解聘本會之職員。
 62. 聘任或解聘本會之職員。
 63. 聘任或解聘本會之職員。
 64. 聘任或解聘本會之職員。
 65. 聘任或解聘本會之職員。
 66. 聘任或解聘本會之職員。
 67. 聘任或解聘本會之職員。
 68. 聘任或解聘本會之職員。
 69. 聘任或解聘本會之職員。
 70. 聘任或解聘本會之職員。
 71. 聘任或解聘本會之職員。
 72. 聘任或解聘本會之職員。
 73. 聘任或解聘本會之職員。
 74. 聘任或解聘本會之職員。
 75. 聘任或解聘本會之職員。
 76. 聘任或解聘本會之職員。
 77. 聘任或解聘本會之職員。
 78. 聘任或解聘本會之職員。
 79. 聘任或解聘本會之職員。
 80. 聘任或解聘本會之職員。
 81. 聘任或解聘本會之職員。
 82. 聘任或解聘本會之職員。
 83. 聘任或解聘本會之職員。
 84. 聘任或解聘本會之職員。
 85. 聘任或解聘本會之職員。
 86. 聘任或解聘本會之職員。
 87. 聘任或解聘本會之職員。
 88. 聘任或解聘本會之職員。
 89. 聘任或解聘本會之職員。
 90. 聘任或解聘本會之職員。
 91. 聘任或解聘本會之職員。
 92. 聘任或解聘本會之職員。
 93. 聘任或解聘本會之職員。
 94. 聘任或解聘本會之職員。
 95. 聘任或解聘本會之職員。
 96. 聘任或解聘本會之職員。
 97. 聘任或解聘本會之職員。
 98. 聘任或解聘本會之職員。
 99. 聘任或解聘本會之職員。
 100. 聘任或解聘本會之職員。
 (三) 經費：本會之經費來源如下：
 1. 會員會費。
 2. 贊助會員會費。
 3. 社會捐助。
 4. 政府補助。
 5. 其他收入。
 (四) 附屬機構：本會得設有下列各級附屬機構：
 1. 研究會。
 2. 講習班。
 3. 圖書館。
 4. 資料室。
 5. 展覽室。
 6. 會議室。
 7. 辦公室。
 8. 印刷部。
 9. 庶務部。
 10. 會計部。
 11. 法律顧問。
 12. 其他必要之機構。
 (五) 其他：本會得與國內外各教育學術團體合作，共同舉辦教育學術活動。

中華民國教育學會
 章程
 第一條
 第二條
 第三條
 第四條
 第五條
 第六條
 第七條
 第八條
 第九條
 第十條
 第十一條
 第十二條
 第十三條
 第十四條
 第十五條
 第十六條
 第十七條
 第十八條
 第十九條
 第二十條
 第二十一條
 第二十二條
 第二十三條
 第二十四條
 第二十五條
 第二十六條
 第二十七條
 第二十八條
 第二十九條
 第三十條
 第三十一條
 第三十二條
 第三十三條
 第三十四條
 第三十五條
 第三十六條
 第三十七條
 第三十八條
 第三十九條
 第四十條
 第四十一條
 第四十二條
 第四十三條
 第四十四條
 第四十五條
 第四十六條
 第四十七條
 第四十八條
 第四十九條
 第五十條
 第五十一條
 第五十二條
 第五十三條
 第五十四條
 第五十五條
 第五十六條
 第五十七條
 第五十八條
 第五十九條
 第六十條
 第六十一條
 第六十二條
 第六十三條
 第六十四條
 第六十五條
 第六十六條
 第六十七條
 第六十八條
 第六十九條
 第七十條
 第七十一條
 第七十二條
 第七十三條
 第七十四條
 第七十五條
 第七十六條
 第七十七條
 第七十八條
 第七十九條
 第八十條
 第八十一條
 第八十二條
 第八十三條
 第八十四條
 第八十五條
 第八十六條
 第八十七條
 第八十八條
 第八十九條
 第九十條
 第九十一條
 第九十二條
 第九十三條
 第九十四條
 第九十五條
 第九十六條
 第九十七條
 第九十八條
 第九十九條
 第一百條

一、關於本會之組織及職權
 本會定名為「中華民國教育學會」，其宗旨在研究教育學術，改進教育行政，並促進教育事業之發展。本會之組織如下：
 (一) 會員：凡具有中華民國國籍，且從事教育行政或教育學術工作者，均可申請加入本會。會員分為：
 1. 正式會員：凡具有大學以上學位，或具有十年以上教育行政或教育學術經驗者，均可申請。其會費為：
 (1) 會費：每月新台幣五百元。
 (2) 年費：新台幣六千元。
 (3) 入會費：新台幣一千元。
 2. 贊助會員：凡具有大學以上學位，或具有五年以上教育行政或教育學術經驗者，均可申請。其會費為：
 (1) 會費：每月新台幣三百元。
 (2) 年費：新台幣三千六百元。
 (3) 入會費：新台幣五百元。
 (4) 贊助會員之會費，得由本會之經費中撥充。
 (二) 職員：本會設會長一人，由會員大會選舉之。會長任期四年，連選得連任一次。會長之職權如下：
 1. 召集會員大會。
 2. 召集臨時會員大會。
 3. 召集理事會。
 4. 召集評議會。
 5. 聘任或解聘本會之職員。
 6. 聘任或解聘本會之職員。
 7. 聘任或解聘本會之職員。
 8. 聘任或解聘本會之職員。
 9. 聘任或解聘本會之職員。
 10. 聘任或解聘本會之職員。
 11. 聘任或解聘本會之職員。
 12. 聘任或解聘本會之職員。
 13. 聘任或解聘本會之職員。
 14. 聘任或解聘本會之職員。
 15. 聘任或解聘本會之職員。
 16. 聘任或解聘本會之職員。
 17. 聘任或解聘本會之職員。
 18. 聘任或解聘本會之職員。
 19. 聘任或解聘本會之職員。
 20. 聘任或解聘本會之職員。
 21. 聘任或解聘本會之職員。
 22. 聘任或解聘本會之職員。
 23. 聘任或解聘本會之職員。
 24. 聘任或解聘本會之職員。
 25. 聘任或解聘本會之職員。
 26. 聘任或解聘本會之職員。
 27. 聘任或解聘本會之職員。
 28. 聘任或解聘本會之職員。
 29. 聘任或解聘本會之職員。
 30. 聘任或解聘本會之職員。
 31. 聘任或解聘本會之職員。
 32. 聘任或解聘本會之職員。
 33. 聘任或解聘本會之職員。
 34. 聘任或解聘本會之職員。
 35. 聘任或解聘本會之職員。
 36. 聘任或解聘本會之職員。
 37. 聘任或解聘本會之職員。
 38. 聘任或解聘本會之職員。
 39. 聘任或解聘本會之職員。
 40. 聘任或解聘本會之職員。
 41. 聘任或解聘本會之職員。
 42. 聘任或解聘本會之職員。
 43. 聘任或解聘本會之職員。
 44. 聘任或解聘本會之職員。
 45. 聘任或解聘本會之職員。
 46. 聘任或解聘本會之職員。
 47. 聘任或解聘本會之職員。
 48. 聘任或解聘本會之職員。
 49. 聘任或解聘本會之職員。
 50. 聘任或解聘本會之職員。
 51. 聘任或解聘本會之職員。
 52. 聘任或解聘本會之職員。
 53. 聘任或解聘本會之職員。
 54. 聘任或解聘本會之職員。
 55. 聘任或解聘本會之職員。
 56. 聘任或解聘本會之職員。
 57. 聘任或解聘本會之職員。
 58. 聘任或解聘本會之職員。
 59. 聘任或解聘本會之職員。
 60. 聘任或解聘本會之職員。
 61. 聘任或解聘本會之職員。
 62. 聘任或解聘本會之職員。
 63. 聘任或解聘本會之職員。
 64. 聘任或解聘本會之職員。
 65. 聘任或解聘本會之職員。
 66. 聘任或解聘本會之職員。
 67. 聘任或解聘本會之職員。
 68. 聘任或解聘本會之職員。
 69. 聘任或解聘本會之職員。
 70. 聘任或解聘本會之職員。
 71. 聘任或解聘本會之職員。
 72. 聘任或解聘本會之職員。
 73. 聘任或解聘本會之職員。
 74. 聘任或解聘本會之職員。
 75. 聘任或解聘本會之職員。
 76. 聘任或解聘本會之職員。
 77. 聘任或解聘本會之職員。
 78. 聘任或解聘本會之職員。
 79. 聘任或解聘本會之職員。
 80. 聘任或解聘本會之職員。
 81. 聘任或解聘本會之職員。
 82. 聘任或解聘本會之職員。
 83. 聘任或解聘本會之職員。
 84. 聘任或解聘本會之職員。
 85. 聘任或解聘本會之職員。
 86. 聘任或解聘本會之職員。
 87. 聘任或解聘本會之職員。
 88. 聘任或解聘本會之職員。
 89. 聘任或解聘本會之職員。
 90. 聘任或解聘本會之職員。
 91. 聘任或解聘本會之職員。
 92. 聘任或解聘本會之職員。
 93. 聘任或解聘本會之職員。
 94. 聘任或解聘本會之職員。
 95. 聘任或解聘本會之職員。
 96. 聘任或解聘本會之職員。
 97. 聘任或解聘本會之職員。
 98. 聘任或解聘本會之職員。
 99. 聘任或解聘本會之職員。
 100. 聘任或解聘本會之職員。
 (三) 經費：本會之經費來源如下：
 1. 會員會費。
 2. 贊助會員會費。
 3. 社會捐助。
 4. 政府補助。
 5. 其他收入。
 (四) 附屬機構：本會得設有下列各級附屬機構：
 1. 研究會。
 2. 講習班。
 3. 圖書館。
 4. 資料室。
 5. 展覽室。
 6. 會議室。
 7. 辦公室。
 8. 印刷部。
 9. 庶務部。
 10. 會計部。
 11. 法律顧問。
 12. 其他必要之機構。
 (五) 其他：本會得與國內外各教育學術團體合作，共同舉辦教育學術活動。

其間亦有許多困難。但我們若能
 以誠實的心去面對，並尋求
 適當的解決方法，這些困難
 最終都會迎刃而解。我們應
 保持樂觀，並相信自己的能力。
 在面對挑戰時，我們不應感到
 絕望，而應將其視為成長的機
 會。通過不斷的努力和學習，
 我們一定能克服所有的困難，
 實現我們的目標。

我們應保持樂觀，並相信自己的能力。
 在面對挑戰時，我們不應感到
 絕望，而應將其視為成長的機
 會。通過不斷的努力和學習，
 我們一定能克服所有的困難，
 實現我們的目標。

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

卷之三

二十四年春正月 朔 壬戌 命王孫滿為左庶長

二月 丙申 王崩

三月 丙申 葬

二十五年春正月 朔 壬戌 命王孫滿為左庶長
 二月 丙申 王崩
 三月 丙申 葬
 二十四年春正月 朔 壬戌 命王孫滿為左庶長
 二月 丙申 王崩
 三月 丙申 葬
 二十五年春正月 朔 壬戌 命王孫滿為左庶長
 二月 丙申 王崩
 三月 丙申 葬

二十四年春正月 朔 壬戌 命王孫滿為左庶長
 二月 丙申 王崩
 三月 丙申 葬
 二十五年春正月 朔 壬戌 命王孫滿為左庶長
 二月 丙申 王崩
 三月 丙申 葬
 二十四年春正月 朔 壬戌 命王孫滿為左庶長
 二月 丙申 王崩
 三月 丙申 葬
 二十五年春正月 朔 壬戌 命王孫滿為左庶長
 二月 丙申 王崩
 三月 丙申 葬

卷之三

一、（一） 凡屬本國人民，均得充當。
 二、（二） 凡屬外國人民，均不得充當。
 三、（三） 凡屬本國人民，均得充當。
 四、（四） 凡屬外國人民，均不得充當。
 五、（五） 凡屬本國人民，均得充當。
 六、（六） 凡屬外國人民，均不得充當。
 七、（七） 凡屬本國人民，均得充當。
 八、（八） 凡屬外國人民，均不得充當。
 九、（九） 凡屬本國人民，均得充當。
 十、（十） 凡屬外國人民，均不得充當。

一、（一） 凡屬本國人民，均得充當。
 二、（二） 凡屬外國人民，均不得充當。
 三、（三） 凡屬本國人民，均得充當。
 四、（四） 凡屬外國人民，均不得充當。
 五、（五） 凡屬本國人民，均得充當。
 六、（六） 凡屬外國人民，均不得充當。
 七、（七） 凡屬本國人民，均得充當。
 八、（八） 凡屬外國人民，均不得充當。
 九、（九） 凡屬本國人民，均得充當。
 十、（十） 凡屬外國人民，均不得充當。

一、（一） 夫道之於世也，猶水之於木也。水涸則木枯，道廢則人亡。故君子必先慎乎德，德薄而位高，位高而祿重，祿重而心驕，心驕則政亂，政亂則民散，民散則國亡。是以君子居則貴道，出則尊德，德尊則位高，位高則祿重，祿重則心平，心平則政順，政順則民聚，民聚則國興。此道之於世也，猶水之於木也。

（二） 夫道之於世也，猶水之於木也。水涸則木枯，道廢則人亡。故君子必先慎乎德，德薄而位高，位高而祿重，祿重而心驕，心驕則政亂，政亂則民散，民散則國亡。是以君子居則貴道，出則尊德，德尊則位高，位高則祿重，祿重則心平，心平則政順，政順則民聚，民聚則國興。此道之於世也，猶水之於木也。

（三） 夫道之於世也，猶水之於木也。水涸則木枯，道廢則人亡。故君子必先慎乎德，德薄而位高，位高而祿重，祿重而心驕，心驕則政亂，政亂則民散，民散則國亡。是以君子居則貴道，出則尊德，德尊則位高，位高則祿重，祿重則心平，心平則政順，政順則民聚，民聚則國興。此道之於世也，猶水之於木也。

（四） 夫道之於世也，猶水之於木也。水涸則木枯，道廢則人亡。故君子必先慎乎德，德薄而位高，位高而祿重，祿重而心驕，心驕則政亂，政亂則民散，民散則國亡。是以君子居則貴道，出則尊德，德尊則位高，位高則祿重，祿重則心平，心平則政順，政順則民聚，民聚則國興。此道之於世也，猶水之於木也。

卷之二
 二
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

卷之二
 二
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、
 五十一、
 五十二、
 五十三、
 五十四、
 五十五、
 五十六、
 五十七、
 五十八、
 五十九、
 六十、
 六十一、
 六十二、
 六十三、
 六十四、
 六十五、
 六十六、
 六十七、
 六十八、
 六十九、
 七十、
 七十一、
 七十二、
 七十三、
 七十四、
 七十五、
 七十六、
 七十七、
 七十八、
 七十九、
 八十、
 八十一、
 八十二、
 八十三、
 八十四、
 八十五、
 八十六、
 八十七、
 八十八、
 八十九、
 九十、
 九十一、
 九十二、
 九十三、
 九十四、
 九十五、
 九十六、
 九十七、
 九十八、
 九十九、
 一百、

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、
 五十一、
 五十二、
 五十三、
 五十四、
 五十五、
 五十六、
 五十七、
 五十八、
 五十九、
 六十、
 六十一、
 六十二、
 六十三、
 六十四、
 六十五、
 六十六、
 六十七、
 六十八、
 六十九、
 七十、
 七十一、
 七十二、
 七十三、
 七十四、
 七十五、
 七十六、
 七十七、
 七十八、
 七十九、
 八十、
 八十一、
 八十二、
 八十三、
 八十四、
 八十五、
 八十六、
 八十七、
 八十八、
 八十九、
 九十、
 九十一、
 九十二、
 九十三、
 九十四、
 九十五、
 九十六、
 九十七、
 九十八、
 九十九、
 一百、

... 諸君之來此者，固非為一時之快，而為一生之樂也。故其於此，必求其所以樂之之道。而後已。此其所以為樂之真諦也。故其於此，必求其所以樂之之道。而後已。此其所以為樂之真諦也。故其於此，必求其所以樂之之道。而後已。此其所以為樂之真諦也。

...

... 諸君之來此者，固非為一時之快，而為一生之樂也。故其於此，必求其所以樂之之道。而後已。此其所以為樂之真諦也。故其於此，必求其所以樂之之道。而後已。此其所以為樂之真諦也。故其於此，必求其所以樂之之道。而後已。此其所以為樂之真諦也。

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、

一、（一） 凡屬國家之政務，皆由國家之法律所規定。故國家之法律，即國家之政務之標準也。國家之法律，即國家之政務之標準也。國家之法律，即國家之政務之標準也。

二、（二） 凡屬國家之政務，皆由國家之法律所規定。故國家之法律，即國家之政務之標準也。國家之法律，即國家之政務之標準也。國家之法律，即國家之政務之標準也。

三、（三） 凡屬國家之政務，皆由國家之法律所規定。故國家之法律，即國家之政務之標準也。國家之法律，即國家之政務之標準也。國家之法律，即國家之政務之標準也。

其下。自是而後。遂為一統。其間。雖有
 一姓之興。一姓之廢。然其間。亦不過
 數百年而已。其間。亦不過數百年而
 已。其間。亦不過數百年而已。其間。
 亦不過數百年而已。其間。亦不過數
 百年而已。其間。亦不過數百年而已。
 其間。亦不過數百年而已。其間。亦
 不過數百年而已。其間。亦不過數百
 年而已。其間。亦不過數百年而已。

其間。亦不過數百年而已。其間。亦
 不過數百年而已。其間。亦不過數百
 年而已。其間。亦不過數百年而已。

一、關於本會之宗旨。本會之宗旨，在於研究我國經濟之發展，及如何以經濟之發展，而達到民生之幸福。此為本會之宗旨，亦即本會之使命。本會之宗旨，在於研究我國經濟之發展，及如何以經濟之發展，而達到民生之幸福。此為本會之宗旨，亦即本會之使命。

一、關於本會之宗旨。本會之宗旨，在於研究我國經濟之發展，及如何以經濟之發展，而達到民生之幸福。此為本會之宗旨，亦即本會之使命。

二、關於本會之組織。本會之組織，分為理事會、監事會、及會員大會。理事會為本會之最高權力機關，由理事若干人組成。監事會為本會之監督機關，由監事若干人組成。會員大會為本會之最高權力機關，由全體會員組成。

一、關於本會之宗旨
 本會之宗旨在於研究我國經濟之發展，並促進我國經濟之繁榮。本會之工作範圍包括：(一) 經濟理論之研究；(二) 經濟政策之研究；(三) 經濟實況之調查；(四) 經濟資料之蒐集；(五) 經濟問題之諮詢；(六) 經濟學術之推廣。本會之組織由會員組成，會員之資格由本會章程規定之。本會之經費由會員捐助及社會各界之捐助。本會之辦事處設於本市中區某某路某某號。本會之成立，旨在為我國經濟之發展貢獻力量。

二、關於本會之組織
 本會之組織由會員組成，會員之資格由本會章程規定之。本會之辦事處設於本市中區某某路某某號。本會之成立，旨在為我國經濟之發展貢獻力量。

三、關於本會之經費
 本會之經費由會員捐助及社會各界之捐助。本會之經費來源包括：(一) 會員會費；(二) 會員捐助；(三) 社會各界之捐助；(四) 政府補助。本會之經費將全部用於本會之各項工作。本會之經費收支情況將定期向會員公佈。本會之經費管理將遵循公開、透明之原則。

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

...

...

...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

五十年來。我國之學術。雖有進步。然其進步之程度。尚不足以與世界各國並駕齊驅。其原因固多。而其最主要者。則由於我國之學術。尚多未開拓之領域。而對於已開拓之領域。亦多未加深入之研究。故欲使我國之學術。能與世界各國並駕齊驅。必須先將我國之學術。開拓之範圍。而後深入之研究。

我國之學術。其開拓之範圍。應包括自然科學、社會科學、人文科學等。而對於自然科學。尤應予極力之提倡。蓋自然科學。為世界各國學術之基礎。我國如欲與世界各國並駕齊驅。必須先將自然科學。開拓之範圍。而後深入之研究。故我國之學術。應以自然科學為先。而後及於社會科學、人文科學。

五十年來
我國之學術

我國之學術。雖有進步。然其進步之程度。尚不足以與世界各國並駕齊驅。其原因固多。而其最主要者。則由於我國之學術。尚多未開拓之領域。而對於已開拓之領域。亦多未加深入之研究。故欲使我國之學術。能與世界各國並駕齊驅。必須先將我國之學術。開拓之範圍。而後深入之研究。

我國之學術。其開拓之範圍。應包括自然科學、社會科學、人文科學等。而對於自然科學。尤應予極力之提倡。蓋自然科學。為世界各國學術之基礎。我國如欲與世界各國並駕齊驅。必須先將自然科學。開拓之範圍。而後深入之研究。故我國之學術。應以自然科學為先。而後及於社會科學、人文科學。

一、（一） 凡屬國家之行政，其權限之分配，應以法律為根據。此即所謂法律保留原則。蓋行政權之行使，必須有法律之授權，始得為之。此項原則，旨在保障人民之自由權利，不受行政權之任意侵犯。故凡涉及人民權利義務之事項，均應由法律予以規定。

（二） 行政機關之組織，亦應以法律為根據。此即所謂組織法定原則。行政機關之設置、職權、編制等，均應由法律予以規定。此項原則，旨在確保行政機關之運作，符合法律之規定，並保障人民對行政機關之監督。

（三） 行政行為之效力，應受法律之限制。此即所謂法律優越原則。行政行為之效力，不得與法律相抵触。若行政行為與法律相抵触，則該行政行為即屬無效。此項原則，旨在維護法律之權威，並保障人民之權利。

（四） 行政行為之執行，應受法律之監督。此即所謂司法審查原則。人民對行政行為之執行，得向法院提起訴訟，請求法院予以撤銷或變更。此項原則，旨在保障人民之權利，並確保行政機關之行為，符合法律之規定。

二、（一） 行政機關之權限，應以法律為根據。此即所謂法律保留原則。蓋行政機關之權限，必須有法律之授權，始得為之。此項原則，旨在保障人民之自由權利，不受行政機關之任意侵犯。故凡涉及人民權利義務之事項，均應由法律予以規定。

（二） 行政機關之組織，亦應以法律為根據。此即所謂組織法定原則。行政機關之設置、職權、編制等，均應由法律予以規定。此項原則，旨在確保行政機關之運作，符合法律之規定，並保障人民對行政機關之監督。

（三） 行政行為之效力，應受法律之限制。此即所謂法律優越原則。行政行為之效力，不得與法律相抵触。若行政行為與法律相抵触，則該行政行為即屬無效。此項原則，旨在維護法律之權威，並保障人民之權利。

（四） 行政行為之執行，應受法律之監督。此即所謂司法審查原則。人民對行政行為之執行，得向法院提起訴訟，請求法院予以撤銷或變更。此項原則，旨在保障人民之權利，並確保行政機關之行為，符合法律之規定。

卷之六
七

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

卷之六

卷之七
八

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

卷之七

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...

一、（一） 凡屬國家之法律，其目的在保障國民之權利，而維護國家之利益。故法律之制定，必須以國民之利益為依歸。若法律之制定，僅以少數人之利益為依歸，則法律之權威，必將受損。故法律之制定，必須以國民之利益為依歸。若法律之制定，僅以少數人之利益為依歸，則法律之權威，必將受損。故法律之制定，必須以國民之利益為依歸。若法律之制定，僅以少數人之利益為依歸，則法律之權威，必將受損。

（一）
（二）
（三）
（四）

二、（一） 法律之制定，必須以國民之利益為依歸。若法律之制定，僅以少數人之利益為依歸，則法律之權威，必將受損。故法律之制定，必須以國民之利益為依歸。若法律之制定，僅以少數人之利益為依歸，則法律之權威，必將受損。故法律之制定，必須以國民之利益為依歸。若法律之制定，僅以少數人之利益為依歸，則法律之權威，必將受損。

此等文字，皆係古人所遺，其意深遠，不可不察。

夫天地之間，萬物並生，各得其宜。然其所以生之者，皆由乎氣。氣者，天之清，地之濁，人之中。三者相感，而萬物以成。故曰：天地絪縕，萬物化醇；男女媾和，萬物萌生。此其大者也。然氣之清濁，非由乎天，非由乎地，非由乎人，皆由乎道。道者，天之理，地之德，人之性。三者合一，而道以成。故曰：道生一，一生二，二生三，三生萬物。此其小者也。然道之清濁，非由乎天，非由乎地，非由乎人，皆由乎心。心者，天之靈，地之機，人之神。三者相感，而道以成。故曰：人心之動，物亦應之。此其微者也。然心之清濁，非由乎天，非由乎地，非由乎人，皆由乎理。理者，天之則，地之法，人之節。三者相感，而心以成。故曰：理者，天地之心也。此其極者也。然理之清濁，非由乎天，非由乎地，非由乎人，皆由乎道。道者，天之理，地之德，人之性。三者合一，而道以成。故曰：道生一，一生二，二生三，三生萬物。此其小者也。然道之清濁，非由乎天，非由乎地，非由乎人，皆由乎心。心者，天之靈，地之機，人之神。三者相感，而道以成。故曰：人心之動，物亦應之。此其微者也。然心之清濁，非由乎天，非由乎地，非由乎人，皆由乎理。理者，天之則，地之法，人之節。三者相感，而心以成。故曰：理者，天地之心也。此其極者也。

此等文字，皆係古人所遺，其意深遠，不可不察。

夫天地之間，萬物並生，各得其宜。然其所以生之者，皆由乎氣。氣者，天之清，地之濁，人之中。三者相感，而萬物以成。故曰：天地絪縕，萬物化醇；男女媾和，萬物萌生。此其大者也。然氣之清濁，非由乎天，非由乎地，非由乎人，皆由乎道。道者，天之理，地之德，人之性。三者合一，而道以成。故曰：道生一，一生二，二生三，三生萬物。此其小者也。然道之清濁，非由乎天，非由乎地，非由乎人，皆由乎心。心者，天之靈，地之機，人之神。三者相感，而道以成。故曰：人心之動，物亦應之。此其微者也。然心之清濁，非由乎天，非由乎地，非由乎人，皆由乎理。理者，天之則，地之法，人之節。三者相感，而心以成。故曰：理者，天地之心也。此其極者也。然理之清濁，非由乎天，非由乎地，非由乎人，皆由乎道。道者，天之理，地之德，人之性。三者合一，而道以成。故曰：道生一，一生二，二生三，三生萬物。此其小者也。然道之清濁，非由乎天，非由乎地，非由乎人，皆由乎心。心者，天之靈，地之機，人之神。三者相感，而道以成。故曰：人心之動，物亦應之。此其微者也。然心之清濁，非由乎天，非由乎地，非由乎人，皆由乎理。理者，天之則，地之法，人之節。三者相感，而心以成。故曰：理者，天地之心也。此其極者也。

一、本報自創刊以來，承蒙各界人士之厚愛，
 不勝感荷。茲為擴大宣傳，特在各地設立分
 銷處，以便讀者隨時隨地購閱。凡欲訂閱者，
 請逕向各分銷處洽購，或逕向本報總發行所
 函購均可。本報宗旨，在於報導事實，服務
 社會，絕無偏私之見。凡我同胞，如有任何
 意見，請隨時向本報編輯部提出，以便改進。
 本報地址：本市中正路一二三號。電話：四
 五六七八。

二、本報為便利讀者起見，特將本報內容
 摘要，彙編成冊，免費贈送。凡訂閱本報者，
 均可向本報索取。本報亦設有讀者信箱，凡
 有讀者投書，請註明真實姓名及地址，以便
 本報轉交有關部門處理。本報每日出版，除
 星期日及例假日外，全年無間。本報廣告費，
 請逕向本報廣告部洽詢。本報廣告費，請
 逕向本報廣告部洽詢。

此書之體裁，蓋仿《史記》之紀傳，而參以《文選》之體裁。其體裁之妙，在於能將歷史之事實，與文學之筆調，融為一爐。其筆調之妙，在於能將歷史之事實，與文學之筆調，融為一爐。其筆調之妙，在於能將歷史之事實，與文學之筆調，融為一爐。

此書之體裁，蓋仿《史記》之紀傳，而參以《文選》之體裁。其體裁之妙，在於能將歷史之事實，與文學之筆調，融為一爐。其筆調之妙，在於能將歷史之事實，與文學之筆調，融為一爐。

其言曰：「夫道之於民猶水之於魚也。水涸則魚亡，道廢則民散。故君子必先慎乎德，德薄而位高，位高而責重，必以自取也。」

其言曰：「夫道之於民猶水之於魚也。水涸則魚亡，道廢則民散。故君子必先慎乎德，德薄而位高，位高而責重，必以自取也。」

國之於民猶水之於魚也民猶魚也水涸則魚亡國亡則民散

故君子必先慎乎德有德此有人有人此有土有土此有財有財此有用

德者本也財者末也外本而末本末倒置則國將亂矣

夫德者本也財者末也外本而末本末倒置則國將亂矣

夫德者本也財者末也外本而末本末倒置則國將亂矣

夫德者本也財者末也外本而末本末倒置則國將亂矣

夫德者本也財者末也外本而末本末倒置則國將亂矣

夫德者本也財者末也外本而末本末倒置則國將亂矣

夫德者本也財者末也外本而末本末倒置則國將亂矣

夫德者本也財者末也外本而末本末倒置則國將亂矣

夫德者本也財者末也外本而末本末倒置則國將亂矣

夫德者本也財者末也外本而末本末倒置則國將亂矣

夫德者本也財者末也外本而末本末倒置則國將亂矣

夫德者本也財者末也外本而末本末倒置則國將亂矣

夫德者本也財者末也外本而末本末倒置則國將亂矣

夫德者本也財者末也外本而末本末倒置則國將亂矣

夫德者本也財者末也外本而末本末倒置則國將亂矣

夫德者本也財者末也外本而末本末倒置則國將亂矣

夫德者本也財者末也外本而末本末倒置則國將亂矣

夫德者本也財者末也外本而末本末倒置則國將亂矣

夫德者本也財者末也外本而末本末倒置則國將亂矣

夫德者本也財者末也外本而末本末倒置則國將亂矣

夫德者本也財者末也外本而末本末倒置則國將亂矣

一、凡欲求道者，必先立心。心者，道之原也。心正則身正，身正則道成。故曰：心正體直。心不正則體不直，體不直則道不成。故曰：心不正則體不直，體不直則道不成。心正則體直，體直則道成。故曰：心正體直。心不正則體不直，體不直則道不成。故曰：心不正則體不直，體不直則道不成。心正則體直，體直則道成。故曰：心正體直。心不正則體不直，體不直則道不成。故曰：心不正則體不直，體不直則道不成。

二、凡欲求道者，必先立心。心者，道之原也。心正則身正，身正則道成。故曰：心正體直。心不正則體不直，體不直則道不成。故曰：心不正則體不直，體不直則道不成。心正則體直，體直則道成。故曰：心正體直。心不正則體不直，體不直則道不成。故曰：心不正則體不直，體不直則道不成。

三、凡欲求道者，必先立心。心者，道之原也。心正則身正，身正則道成。故曰：心正體直。心不正則體不直，體不直則道不成。故曰：心不正則體不直，體不直則道不成。心正則體直，體直則道成。故曰：心正體直。心不正則體不直，體不直則道不成。故曰：心不正則體不直，體不直則道不成。心正則體直，體直則道成。故曰：心正體直。心不正則體不直，體不直則道不成。故曰：心不正則體不直，體不直則道不成。

一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、... 十一、... 十二、... 十三、... 十四、... 十五、... 十六、... 十七、... 十八、... 十九、... 二十、... 二十一、... 二十二、... 二十三、... 二十四、... 二十五、... 二十六、... 二十七、... 二十八、... 二十九、... 三十、... 三十一、... 三十二、... 三十三、... 三十四、... 三十五、... 三十六、... 三十七、... 三十八、... 三十九、... 四十、... 四十一、... 四十二、... 四十三、... 四十四、... 四十五、... 四十六、... 四十七、... 四十八、... 四十九、... 五十、...

一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、... 十一、... 十二、... 十三、... 十四、... 十五、... 十六、... 十七、... 十八、... 十九、... 二十、... 二十一、... 二十二、... 二十三、... 二十四、... 二十五、... 二十六、... 二十七、... 二十八、... 二十九、... 三十、... 三十一、... 三十二、... 三十三、... 三十四、... 三十五、... 三十六、... 三十七、... 三十八、... 三十九、... 四十、... 四十一、... 四十二、... 四十三、... 四十四、... 四十五、... 四十六、... 四十七、... 四十八、... 四十九、... 五十、...

...

...

...

...

其間必有其所以然之故也。然則其所以然之故
 必有其所以然之故也。然則其所以然之故必有
 其所以然之故也。然則其所以然之故必有其
 所以然之故也。然則其所以然之故必有其所以
 然之故也。然則其所以然之故必有其所以然之
 故也。然則其所以然之故必有其所以然之故也。

其間必有其所以然之故也。然則其所以然之
 故必有其所以然之故也。然則其所以然之故
 必有其所以然之故也。然則其所以然之故必有
 其所以然之故也。然則其所以然之故必有其
 所以然之故也。然則其所以然之故必有其所以
 然之故也。然則其所以然之故必有其所以然之
 故也。然則其所以然之故必有其所以然之故也。

有司以禮樂教化之民。故曰禮樂之於民。猶水火風雷之於草木也。水旱風雷。草木之害也。禮樂教化。民之利也。故曰禮樂之於民。猶水火風雷之於草木也。水旱風雷。草木之害也。禮樂教化。民之利也。故曰禮樂之於民。猶水火風雷之於草木也。

有司以禮樂教化之民。故曰禮樂之於民。猶水火風雷之於草木也。水旱風雷。草木之害也。禮樂教化。民之利也。故曰禮樂之於民。猶水火風雷之於草木也。水旱風雷。草木之害也。禮樂教化。民之利也。故曰禮樂之於民。猶水火風雷之於草木也。

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百

一、凡我同胞，幸垂鑒焉。嗚呼！國之興衰，繫於一人。一人之賢否，繫於一官。一官之賢否，繫於一舉一動。一舉一動之善惡，繫於一人心。人心之善惡，繫於一德。德者，本也。財者，末也。外本而求末，則德喪而財竭。德喪而財竭，則國亡而身死。此理之必然者也。

嗚呼！國之興衰，繫於一人。一人之賢否，繫於一官。一官之賢否，繫於一舉一動。一舉一動之善惡，繫於一人心。人心之善惡，繫於一德。德者，本也。財者，末也。外本而求末，則德喪而財竭。德喪而財竭，則國亡而身死。此理之必然者也。

Text in a rectangular box on the left page, consisting of several columns of vertical Chinese characters.

Text in a rectangular box on the right page, consisting of several columns of vertical Chinese characters.

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...

一、（一） 凡屬此類者，其性質均屬
 二、（二） 此類之性質，與前類
 三、（三） 此類之性質，與前類
 四、（四） 此類之性質，與前類
 五、（五） 此類之性質，與前類
 六、（六） 此類之性質，與前類
 七、（七） 此類之性質，與前類
 八、（八） 此類之性質，與前類
 九、（九） 此類之性質，與前類
 十、（十） 此類之性質，與前類

...

一、（一） 凡屬此類者，其性質均屬
 二、（二） 此類之性質，與前類
 三、（三） 此類之性質，與前類
 四、（四） 此類之性質，與前類
 五、（五） 此類之性質，與前類
 六、（六） 此類之性質，與前類
 七、（七） 此類之性質，與前類
 八、（八） 此類之性質，與前類
 九、（九） 此類之性質，與前類
 十、（十） 此類之性質，與前類

...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、（一） 凡屬此類者，其性質均屬「臨時性」，而非「永久性」。其目的在於「解決」而非「預防」。其對象為「個別」而非「一般」。其效力為「局部」而非「全面」。其範圍為「狹窄」而非「廣泛」。其時間為「短期」而非「長期」。其地點為「點」而非「面」。其手段為「強制」而非「勸導」。其結果為「消滅」而非「減少」。其性質為「消滅性」而非「減少性」。其目的為「消滅」而非「減少」。其對象為「個別」而非「一般」。其效力為「局部」而非「全面」。其範圍為「狹窄」而非「廣泛」。其時間為「短期」而非「長期」。其地點為「點」而非「面」。其手段為「強制」而非「勸導」。其結果為「消滅」而非「減少」。其性質為「消滅性」而非「減少性」。

二、（二） 凡屬此類者，其性質均屬「永久性」，而非「臨時性」。其目的在於「預防」而非「解決」。其對象為「一般」而非「個別」。其效力為「全面」而非「局部」。其範圍為「廣泛」而非「狹窄」。其時間為「長期」而非「短期」。其地點為「面」而非「點」。其手段為「勸導」而非「強制」。其結果為「減少」而非「消滅」。其性質為「減少性」而非「消滅性」。其目的為「減少」而非「消滅」。其對象為「一般」而非「個別」。其效力為「全面」而非「局部」。其範圍為「廣泛」而非「狹窄」。其時間為「長期」而非「短期」。其地點為「面」而非「點」。其手段為「勸導」而非「強制」。其結果為「減少」而非「消滅」。其性質為「減少性」而非「消滅性」。

一、論曰：夫道之於世，猶水之於木也。水竭則木枯，道廢則國亂。故君子必先慎乎道。道之於世，猶水之於木也。水竭則木枯，道廢則國亂。故君子必先慎乎道。道之於世，猶水之於木也。水竭則木枯，道廢則國亂。故君子必先慎乎道。

卷之二

二、論曰：夫道之於世，猶水之於木也。水竭則木枯，道廢則國亂。故君子必先慎乎道。道之於世，猶水之於木也。水竭則木枯，道廢則國亂。故君子必先慎乎道。道之於世，猶水之於木也。水竭則木枯，道廢則國亂。故君子必先慎乎道。

卷之二

三、論曰：夫道之於世，猶水之於木也。水竭則木枯，道廢則國亂。故君子必先慎乎道。道之於世，猶水之於木也。水竭則木枯，道廢則國亂。故君子必先慎乎道。道之於世，猶水之於木也。水竭則木枯，道廢則國亂。故君子必先慎乎道。

卷之二

卷之二
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

卷之三
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

卷之二

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、

七
八
九
十

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、

卷之四

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

四

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

Chapter 1: Introduction
1.1. Background and Motivation
1.2. Objectives and Scope
1.3. Organization of the Document

Chapter 2: Literature Review
2.1. State-of-the-Art
2.2. Critical Analysis
2.3. Research Gaps

Chapter 3: Methodology
3.1. Research Approach
3.2. Data Collection
3.3. Experimental Setup
3.4. Evaluation Metrics

Chapter 4: Results and Discussion
4.1. Quantitative Results
4.2. Qualitative Insights
4.3. Comparison with Existing Work
4.4. Implications and Future Work

Chapter 5: Conclusion
5.1. Summary of Findings
5.2. Final Remarks

Chapter 6: Appendix
6.1. Supporting Data
6.2. Supplementary Figures
6.3. Detailed Calculations

Chapter 7: Bibliography
7.1. References

Chapter 8: Index
8.1. Subject Index

Chapter 9: Glossary
9.1. Key Terms

Chapter 10: Acknowledgments
10.1. Gratitude

Chapter 11: About the Author
11.1. Author's Bio

一、...
二、...
三、...
四、...
五、...
六、...
七、...
八、...
九、...
十、...

一、...
二、...
三、...
四、...
五、...
六、...
七、...
八、...
九、...
十、...

一、

一、

二、

一、

三、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、（一） 凡屬此類者，其性質皆屬
 二、（二） 凡屬此類者，其性質皆屬
 三、（三） 凡屬此類者，其性質皆屬
 四、（四） 凡屬此類者，其性質皆屬
 五、（五） 凡屬此類者，其性質皆屬
 六、（六） 凡屬此類者，其性質皆屬
 七、（七） 凡屬此類者，其性質皆屬
 八、（八） 凡屬此類者，其性質皆屬
 九、（九） 凡屬此類者，其性質皆屬
 十、（十） 凡屬此類者，其性質皆屬

一、（一） 凡屬此類者，其性質皆屬
 二、（二） 凡屬此類者，其性質皆屬
 三、（三） 凡屬此類者，其性質皆屬
 四、（四） 凡屬此類者，其性質皆屬
 五、（五） 凡屬此類者，其性質皆屬
 六、（六） 凡屬此類者，其性質皆屬
 七、（七） 凡屬此類者，其性質皆屬
 八、（八） 凡屬此類者，其性質皆屬
 九、（九） 凡屬此類者，其性質皆屬
 十、（十） 凡屬此類者，其性質皆屬

一、（一） 凡屬此類者，其性質皆屬
 二、（二） 凡屬此類者，其性質皆屬
 三、（三） 凡屬此類者，其性質皆屬
 四、（四） 凡屬此類者，其性質皆屬
 五、（五） 凡屬此類者，其性質皆屬
 六、（六） 凡屬此類者，其性質皆屬
 七、（七） 凡屬此類者，其性質皆屬
 八、（八） 凡屬此類者，其性質皆屬
 九、（九） 凡屬此類者，其性質皆屬
 十、（十） 凡屬此類者，其性質皆屬

夫道者，天之經也，地之義也，民之行也。天地之所以成，四時之所以序，五行之所以運，萬物之所以生，聖人之所以治，皆由乎道。道者，不可見而不可不察者也。其於天地之間，猶氣之於身也。氣之於身，猶水之於木也。木無水則枯，身無氣則死，道無德則廢。故君子必先慎乎德，德有餘則小人化，德不足則小人侵。德者，本也。財者，末也。外本而內末，則民散。故君子必先慎乎德，德有餘則小人化，德不足則小人侵。德者，本也。財者，末也。外本而內末，則民散。故君子必先慎乎德，德有餘則小人化，德不足則小人侵。

夫道者，天之經也，地之義也，民之行也。

夫道者，天之經也，地之義也，民之行也。天地之所以成，四時之所以序，五行之所以運，萬物之所以生，聖人之所以治，皆由乎道。道者，不可見而不可不察者也。其於天地之間，猶氣之於身也。氣之於身，猶水之於木也。木無水則枯，身無氣則死，道無德則廢。故君子必先慎乎德，德有餘則小人化，德不足則小人侵。德者，本也。財者，末也。外本而內末，則民散。故君子必先慎乎德，德有餘則小人化，德不足則小人侵。德者，本也。財者，末也。外本而內末，則民散。故君子必先慎乎德，德有餘則小人化，德不足則小人侵。

夫道者，天之經也，地之義也，民之行也。

一、（一） 凡屬此類者，其性質均屬
 二、（二） 凡屬此類者，其性質均屬
 三、（三） 凡屬此類者，其性質均屬
 四、（四） 凡屬此類者，其性質均屬
 五、（五） 凡屬此類者，其性質均屬
 六、（六） 凡屬此類者，其性質均屬
 七、（七） 凡屬此類者，其性質均屬
 八、（八） 凡屬此類者，其性質均屬
 九、（九） 凡屬此類者，其性質均屬
 十、（十） 凡屬此類者，其性質均屬

一、（一） 凡屬此類者，其性質均屬
 二、（二） 凡屬此類者，其性質均屬
 三、（三） 凡屬此類者，其性質均屬
 四、（四） 凡屬此類者，其性質均屬
 五、（五） 凡屬此類者，其性質均屬
 六、（六） 凡屬此類者，其性質均屬
 七、（七） 凡屬此類者，其性質均屬
 八、（八） 凡屬此類者，其性質均屬
 九、（九） 凡屬此類者，其性質均屬
 十、（十） 凡屬此類者，其性質均屬

卷之四
四

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

結實而能生，滋潤而能成。此所以
 謂之穀也。穀者，人之命也。人之
 命，在於穀。穀之於人，猶水之於
 魚。水竭則魚亡，穀乏則人亡。故
 君子必先慎乎食。食者，人之
 本也。人之本，在於食。食之於
 人，猶木之於根。根枯則木死，食
 乏則人亡。故君子必先慎乎食。
 食者，人之本也。人之本，在於
 食。食之於人，猶木之於根。根
 枯則木死，食乏則人亡。故君子
 必先慎乎食。食者，人之本也。
 人之本，在於食。食之於人，猶
 木之於根。根枯則木死，食乏則
 人亡。故君子必先慎乎食。食者
 人之本也。人之本，在於食。食之
 於人，猶木之於根。根枯則木死，
 食乏則人亡。故君子必先慎乎食。

結實而能生，滋潤而能成。此所以
 謂之穀也。穀者，人之命也。人之
 命，在於穀。穀之於人，猶水之於
 魚。水竭則魚亡，穀乏則人亡。故
 君子必先慎乎食。食者，人之
 本也。人之本，在於食。食之於
 人，猶木之於根。根枯則木死，食
 乏則人亡。故君子必先慎乎食。
 食者，人之本也。人之本，在於
 食。食之於人，猶木之於根。根
 枯則木死，食乏則人亡。故君子
 必先慎乎食。食者，人之本也。
 人之本，在於食。食之於人，猶
 木之於根。根枯則木死，食乏則
 人亡。故君子必先慎乎食。食者
 人之本也。人之本，在於食。食之
 於人，猶木之於根。根枯則木死，
 食乏則人亡。故君子必先慎乎食。

一、（一） 凡屬國家之法律，其目的在保護國家之利益，及人民之權利。故法律之制定，必須以國家之利益為前提，而人民之權利亦不得因此而受侵害。此即法律之基本原則也。

二、（二） 法律之制定，必須經過合法之程序。即由立法機關，依照法定之程序，制定之。此即法律之程序原則也。

三、（三） 法律之制定，必須符合法律之原則。即法律之制定，必須符合法律之基本原則，及程序原則。此即法律之實質原則也。

四、（四） 法律之制定，必須符合法律之精神。即法律之制定，必須符合法律之基本原則，及程序原則之精神。此即法律之實質原則之具體化也。

一、（一） 法律之制定，必須以國家之利益為前提。此即法律之基本原則也。法律之制定，必須以國家之利益為前提，而人民之權利亦不得因此而受侵害。此即法律之基本原則也。

二、（二） 法律之制定，必須經過合法之程序。即由立法機關，依照法定之程序，制定之。此即法律之程序原則也。

三、（三） 法律之制定，必須符合法律之原則。即法律之制定，必須符合法律之基本原則，及程序原則。此即法律之實質原則也。

四、（四） 法律之制定，必須符合法律之精神。即法律之制定，必須符合法律之基本原則，及程序原則之精神。此即法律之實質原則之具體化也。

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

夫道之於世也猶水之於木也木無水則枯水無木則竭道無德則衰德無道則廢故君子必先慎乎德德有餘則小人化小人化則天下歸之天下歸之則王矣

夫道之於世也猶水之於木也木無水則枯水無木則竭道無德則衰德無道則廢故君子必先慎乎德德有餘則小人化小人化則天下歸之天下歸之則王矣

此書之體裁，與前書無異。其文辭，亦多與前書相類。然其內容，則多與前書不同。其所以然者，蓋由於其所記之事，多與前書不同也。其書之體裁，亦多與前書相類。其文辭，亦多與前書相類。然其內容，則多與前書不同。其所以然者，蓋由於其所記之事，多與前書不同也。

卷之三
 卷之三

此書之體裁，與前書無異。其文辭，亦多與前書相類。然其內容，則多與前書不同。其所以然者，蓋由於其所記之事，多與前書不同也。其書之體裁，亦多與前書相類。其文辭，亦多與前書相類。然其內容，則多與前書不同。其所以然者，蓋由於其所記之事，多與前書不同也。

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、關於本會之宗旨
 本會之宗旨在於研究我國經濟之發展，並促進我國經濟之繁榮。本會之組織，係由各界人士組成，其任務在於搜集資料，進行研究，並向政府及社會提出建議。本會之經費，由各界人士捐助，並由本會自行籌措。本會之辦事處，設於本市，並在各縣市設有分會。本會之成立，對於我國經濟之發展，將有重大之貢獻。

二、關於本會之組織
 本會之組織，係由各界人士組成，其任務在於搜集資料，進行研究，並向政府及社會提出建議。本會之經費，由各界人士捐助，並由本會自行籌措。本會之辦事處，設於本市，並在各縣市設有分會。本會之成立，對於我國經濟之發展，將有重大之貢獻。

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、
 五十一、
 五十二、
 五十三、
 五十四、
 五十五、
 五十六、
 五十七、
 五十八、
 五十九、
 六十、
 六十一、
 六十二、
 六十三、
 六十四、
 六十五、
 六十六、
 六十七、
 六十八、
 六十九、
 七十、
 七十一、
 七十二、
 七十三、
 七十四、
 七十五、
 七十六、
 七十七、
 七十八、
 七十九、
 八十、
 八十一、
 八十二、
 八十三、
 八十四、
 八十五、
 八十六、
 八十七、
 八十八、
 八十九、
 九十、
 九十一、
 九十二、
 九十三、
 九十四、
 九十五、
 九十六、
 九十七、
 九十八、
 九十九、
 一百、

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、
 五十一、
 五十二、
 五十三、
 五十四、
 五十五、
 五十六、
 五十七、
 五十八、
 五十九、
 六十、
 六十一、
 六十二、
 六十三、
 六十四、
 六十五、
 六十六、
 六十七、
 六十八、
 六十九、
 七十、
 七十一、
 七十二、
 七十三、
 七十四、
 七十五、
 七十六、
 七十七、
 七十八、
 七十九、
 八十、
 八十一、
 八十二、
 八十三、
 八十四、
 八十五、
 八十六、
 八十七、
 八十八、
 八十九、
 九十、
 九十一、
 九十二、
 九十三、
 九十四、
 九十五、
 九十六、
 九十七、
 九十八、
 九十九、
 一百、

其初也。夫道之於世，猶水之於木也。木無水則枯，世無道則亂。故君子必先慎乎德，德薄而位尊，位尊而無功，禍必隨之。是以君子居則觀象象天，動則觀象法地。天垂象，聖則法之，以類象。地垂象，聖則法之，以象類。天象無形，地象有形。君子居則觀象象天，動則觀象法地。天垂象，聖則法之，以類象。地垂象，聖則法之，以象類。天象無形，地象有形。

其初也。夫道之於世，猶水之於木也。木無水則枯，世無道則亂。故君子必先慎乎德，德薄而位尊，位尊而無功，禍必隨之。是以君子居則觀象象天，動則觀象法地。天垂象，聖則法之，以類象。地垂象，聖則法之，以象類。天象無形，地象有形。君子居則觀象象天，動則觀象法地。天垂象，聖則法之，以類象。地垂象，聖則法之，以象類。天象無形，地象有形。

論道

卷之二

卷之二

卷之二

Text block on the right page, containing multiple columns of vertical Chinese characters.

卷之二

卷之二

Text block on the left page, containing multiple columns of vertical Chinese characters.

一、關於本會之宗旨。本會以研究我國經濟史，整理我國經濟史料，及介紹外國經濟史，為其宗旨。凡我僑胞，如有志於此者，請即參加。本會之組織，分設理事會及會員大會。理事會由本會發起人推選之，會員大會由全體會員選舉之。本會之經費，由發起人捐助，及會員會費。本會之辦事處，設於新加坡。本會之成立，實為我國僑胞之幸。凡我僑胞，如有志於此者，請即參加。本會之宗旨，在於研究我國經濟史，整理我國經濟史料，及介紹外國經濟史。凡我僑胞，如有志於此者，請即參加。本會之組織，分設理事會及會員大會。理事會由本會發起人推選之，會員大會由全體會員選舉之。本會之經費，由發起人捐助，及會員會費。本會之辦事處，設於新加坡。本會之成立，實為我國僑胞之幸。凡我僑胞，如有志於此者，請即參加。

中華民國二十九年

本會之宗旨，在於研究我國經濟史，整理我國經濟史料，及介紹外國經濟史。凡我僑胞，如有志於此者，請即參加。本會之組織，分設理事會及會員大會。理事會由本會發起人推選之，會員大會由全體會員選舉之。本會之經費，由發起人捐助，及會員會費。本會之辦事處，設於新加坡。本會之成立，實為我國僑胞之幸。凡我僑胞，如有志於此者，請即參加。本會之宗旨，在於研究我國經濟史，整理我國經濟史料，及介紹外國經濟史。凡我僑胞，如有志於此者，請即參加。本會之組織，分設理事會及會員大會。理事會由本會發起人推選之，會員大會由全體會員選舉之。本會之經費，由發起人捐助，及會員會費。本會之辦事處，設於新加坡。本會之成立，實為我國僑胞之幸。凡我僑胞，如有志於此者，請即參加。

中華民國二十九年

一、（一） 凡屬此類者，其性質均屬
 二、（二） 此類之性質，與前類
 三、（三） 此類之性質，與前類
 四、（四） 此類之性質，與前類
 五、（五） 此類之性質，與前類
 六、（六） 此類之性質，與前類
 七、（七） 此類之性質，與前類
 八、（八） 此類之性質，與前類
 九、（九） 此類之性質，與前類
 十、（十） 此類之性質，與前類

一、（一） 凡屬此類者，其性質均屬
 二、（二） 此類之性質，與前類
 三、（三） 此類之性質，與前類
 四、（四） 此類之性質，與前類
 五、（五） 此類之性質，與前類
 六、（六） 此類之性質，與前類
 七、（七） 此類之性質，與前類
 八、（八） 此類之性質，與前類
 九、（九） 此類之性質，與前類
 十、（十） 此類之性質，與前類

一、關於經濟學之研究。經濟學之研究，其目的在說明人類行為之經濟方面。人類行為之經濟方面，即指人類行為之資源分配而言。資源分配之原理，即為經濟學之核心。經濟學之研究，應以人類行為之資源分配為對象。

二、關於經濟學之方法。經濟學之方法，應以科學方法為基礎。科學方法之特點，在於其客觀性與可驗證性。經濟學之研究，應採用科學方法，以確保其研究之客觀性與可驗證性。

三、關於經濟學之應用。經濟學之研究，應具有實用性。經濟學之研究，應能為人類行為之資源分配提供指導。經濟學之研究，應能為人類行為之資源分配提供指導。

四、關於經濟學之地位。經濟學之地位，應為社會科學之一。經濟學之研究，應具有社會科學之特點。經濟學之研究，應具有社會科學之特點。

五、關於經濟學之發展。經濟學之發展，應與人類行為之資源分配相適應。經濟學之發展，應與人類行為之資源分配相適應。

一、論曰：夫道之於世也，猶水之於木也。水涸則木亡，道廢則國亂。故君子必先慎乎道。道之於世也，猶水之於木也。水涸則木亡，道廢則國亂。故君子必先慎乎道。道之於世也，猶水之於木也。水涸則木亡，道廢則國亂。故君子必先慎乎道。

此段文字為右頁上方之附錄或批註，內容與正文相輔相成。

二、論曰：夫道之於世也，猶水之於木也。水涸則木亡，道廢則國亂。故君子必先慎乎道。道之於世也，猶水之於木也。水涸則木亡，道廢則國亂。故君子必先慎乎道。道之於世也，猶水之於木也。水涸則木亡，道廢則國亂。故君子必先慎乎道。

此段文字為左頁上方之附錄或批註，內容與正文相輔相成。

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、凡屬我黨我軍之幹部，均應有極高之政治覺悟，及極強之組織紀律。凡屬我黨我軍之幹部，均應有極高之政治覺悟，及極強之組織紀律。凡屬我黨我軍之幹部，均應有極高之政治覺悟，及極強之組織紀律。

二、凡屬我黨我軍之幹部，均應有極高之政治覺悟，及極強之組織紀律。凡屬我黨我軍之幹部，均應有極高之政治覺悟，及極強之組織紀律。凡屬我黨我軍之幹部，均應有極高之政治覺悟，及極強之組織紀律。

其說曰：「夫道之於世也，猶水之於木也。木之於水也，猶魚之於水也。水竭則木枯，木枯則魚亡。道廢則世亂，世亂則民散。故君子必先慎乎道，然後慎乎德。德者本也，財者末也。外本而內末，則民散。故君子必先慎乎德，有德此有人，有人此有土，有土此有財，有財此有用。德者本也，財者末也。外本而內末，則民散。故君子必先慎乎德，有德此有人，有人此有土，有土此有財，有財此有用。」

其說曰：「夫道之於世也，猶水之於木也。木之於水也，猶魚之於水也。水竭則木枯，木枯則魚亡。道廢則世亂，世亂則民散。故君子必先慎乎道，然後慎乎德。德者本也，財者末也。外本而內末，則民散。故君子必先慎乎德，有德此有人，有人此有土，有土此有財，有財此有用。」

一、此章在《論衡》中，係論衡對漢宣帝之答覆。其意謂：漢宣帝之問，係問及漢代之衰微，其原因何在？故論衡乃就漢代之衰微，而論其所以衰微之原因。其意謂：漢代之衰微，其原因有三：一、漢代之衰微，其原因在於漢代之政治。二、漢代之衰微，其原因在於漢代之經濟。三、漢代之衰微，其原因在於漢代之文化。

二、此章在《論衡》中，係論衡對漢宣帝之答覆。其意謂：漢代之衰微，其原因有三：一、漢代之衰微，其原因在於漢代之政治。二、漢代之衰微，其原因在於漢代之經濟。三、漢代之衰微，其原因在於漢代之文化。

論衡

論衡

... 之 故 也 夫 德 之 有 於 民 猶 水 之 有 於 木 也 木 無 水 則 枯 民 無 德 則 散 故 德 者 本 也 財 者 末 也 外 本 而 求 末 則 末 至 而 本 亡 故 德 有 於 財 猶 水 有 於 木 也 德 者 本 也 財 者 末 也 外 本 而 求 末 則 末 至 而 本 亡 故 德 有 於 財 猶 水 有 於 木 也 德 者 本 也 財 者 末 也 外 本 而 求 末 則 末 至 而 本 亡 故 德 有 於 財 猶 水 有 於 木 也

... 之 故 也 夫 德 之 有 於 民 猶 水 之 有 於 木 也 木 無 水 則 枯 民 無 德 則 散 故 德 者 本 也 財 者 末 也 外 本 而 求 末 則 末 至 而 本 亡 故 德 有 於 財 猶 水 有 於 木 也 德 者 本 也 財 者 末 也 外 本 而 求 末 則 末 至 而 本 亡 故 德 有 於 財 猶 水 有 於 木 也 德 者 本 也 財 者 末 也 外 本 而 求 末 則 末 至 而 本 亡 故 德 有 於 財 猶 水 有 於 木 也

論 德 性

德性者，天之賦與也。人之所賦，有剛柔之分。剛者，天之賦與也。柔者，地之賦與也。剛柔相濟，則德性成。德性成，則仁義禮智隨之。仁者，愛人也。義者，宜也。禮者，節也。智者，知也。仁義禮智，德性之華也。德性之實，則仁義禮智隨之。德性之華，則仁義禮智隨之。德性之實，則仁義禮智隨之。德性之華，則仁義禮智隨之。

德性者，天之賦與也。人之所賦，有剛柔之分。剛者，天之賦與也。柔者，地之賦與也。剛柔相濟，則德性成。德性成，則仁義禮智隨之。仁者，愛人也。義者，宜也。禮者，節也。智者，知也。仁義禮智，德性之華也。德性之實，則仁義禮智隨之。德性之華，則仁義禮智隨之。德性之實，則仁義禮智隨之。德性之華，則仁義禮智隨之。

此書之序
一、序
二、目錄
三、正文
四、附錄
五、跋語

此書之序
一、序
二、目錄
三、正文
四、附錄
五、跋語

此書之序
一、序
二、目錄
三、正文
四、附錄
五、跋語

此書之序
一、序
二、目錄
三、正文
四、附錄
五、跋語

卷之四
四
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

卷之五
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、

...

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、

卷之二
七

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

卷之四
四

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

四

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

四

論 德 行 之 修 養

德 行 之 修 養

德 行 之 修 養

德者，本也。財者，末也。外本而內末，自滅其德也。德者，下之所歸，財者，下之所聚。德者，本也。財者，末也。外本而內末，自滅其德也。德者，下之所歸，財者，下之所聚。德者，本也。財者，末也。外本而內末，自滅其德也。德者，下之所歸，財者，下之所聚。德者，本也。財者，末也。外本而內末，自滅其德也。德者，下之所歸，財者，下之所聚。

德者，本也。財者，末也。外本而內末，自滅其德也。德者，下之所歸，財者，下之所聚。德者，本也。財者，末也。外本而內末，自滅其德也。德者，下之所歸，財者，下之所聚。德者，本也。財者，末也。外本而內末，自滅其德也。德者，下之所歸，財者，下之所聚。德者，本也。財者，末也。外本而內末，自滅其德也。德者，下之所歸，財者，下之所聚。德者，本也。財者，末也。外本而內末，自滅其德也。德者，下之所歸，財者，下之所聚。

1875

1876

1877

1878

此書之體裁，蓋仿《詩經》之賦，而參以《楚辭》之體，其辭藻之富麗，其音韻之鏗鏘，固足以發揚其雄渾之氣，而見其博大之觀。然其間亦有流於浮靡者，亦有失於質樸者，此則讀者所當審察而辨別之也。

卷之四

此卷之文，其體裁不一，有賦，有詩，有詞，有曲，其辭藻之富麗，其音韻之鏗鏘，固足以發揚其雄渾之氣，而見其博大之觀。然其間亦有流於浮靡者，亦有失於質樸者，此則讀者所當審察而辨別之也。

此卷之文，其體裁不一，有賦，有詩，有詞，有曲，其辭藻之富麗，其音韻之鏗鏘，固足以發揚其雄渾之氣，而見其博大之觀。然其間亦有流於浮靡者，亦有失於質樸者，此則讀者所當審察而辨別之也。